

《松江キャンパス》

平成 25 年度 公立大学法人島根県立大学
 地域連携推進センター松江キャンパス運営会議 名簿

(任期：平成 25.4.1~平成 26 年 3.31)

職 名	氏 名	備 考
教 授	小泉 凡	・地域連携推進センター副センター長
助 教	水 珠子	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (学生ボランティア推進)
講 師	矢島 毅昌	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (教育機関連携)
講 師	ラング・クリス・アレキサンダー	・地域連携推進委員会委員 ・地域連携コーディネーター (公開講座連携)
管理課長	上代 勇夫	・事務局委員
嘱託員	藤原 香緒里	・事務局委員

平成 25 年度 松江キャンパスの地域連携活動概要

平成 25 年度の松江キャンパス地域連携推進センターでは、公開講座・教育機関連携・学生地域ボランティア活動の推進の 3 つを軸に活動した。また正課授業・卒業プロジェクト・サークル活動を通して、あるいは学科、グループ・個人の単位でも活発な地域貢献活動が行われた。

さらに、文部科学省「地（知）の拠点事業（大学 COC 事業）」の採択にともない、COC 事業準備委員会を設置し、キャンパス・プラットフォーム「しまね地域共生センター」の開設準備を進めた。以下の目次に従って、松江キャンパスの地域貢献活動をまとめることにする。

1. 地域連携推進委員会の活動
2. 地域に関する教育・研究活動
3. 公開講座・講演会等の開催
4. 地域活性化支援
 - (1) 企業・団体・NPO 法人等との連携
 - (2) 自治体等との連携
5. 学生による地域貢献活動
6. 教育機関等との連携—保・幼・小・中・高・大の教育連携
7. 教育課程のための地域の施設・機関との連携
8. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動

25 年度の特筆すべき活動として、第一に、文部科学省「地（知）の拠点事業（大学 COC 事業）」の採択にともない、松江キャンパスでは、「健康・保育・文化・観光」の専門分野を生かした共同研究の推進、さらにその成果を生かした履修証明プログラムの開発をめざし、拠点となるキャンパス・プラットフォーム「しまね地域共生センター」の開設準備を進めたことである。平成 26 年 3 月 7 日には「地域共生へのアプローチ」をテーマに、研究準備協議会（キャンパス・フォーラム）を開催し、各学科で進行中の地域志向研究について学外協力者を交えて発表を行った。

第二に、学生（個人や団体）が自主的に企画する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助し、夢の実現を支援する事業「キラキラドリームプロジェクト」が開始されたことだ。公開審査会を経て、4 つのプロジェクトが採択された。そのうち、Shimane Specialty Smoothie プロジェクトは、地域資源である「松江のお茶」と「島根の特産品」をふんだんに使ったオリジナルスムージーを商品開発し、地域イベントに積極的に参加した。また、部活動による地域活性化支援も活発化する傾向がみられた。

恒例の公開講座「椿の道アカデミー」は、25 年度には特別企画はなかったものの、20 周年記念事業の文化資源探究講座など人気講座が通常講座化されたことにより、のべ参加者数は 24 年度より 41 名増加し、会員制度の理解もようやく浸透してきたことを感じる。

26 年度以降は、「しまね地域共生センター」が松江キャンパスの地域連携活動を統括し、推進役を果たしていくことになる。今後も、「地域をキャンパスに」「キャンパスを地域に」の精神を念頭に置き、地域のニーズにこたえる地域貢献活動を継続していきたい。

しまね地域共生センター センター長 小泉 凡

1. 地域連携推進委員会の活動

松江キャンパスにおいては、地域連携推進委員会が、「公開講座」「教育機関・その他高大連携」「学生ボランティア活動の推進」での地域貢献の3部門で委員により窓口を分担した。

- ・委員長（地域連携推進センター副センター長） 小泉 凡（総合文化学科教授）
- ・公開講座での地域貢献担当委員 ラング・クリス（総合文化学科講師）
- ・幼保園のぎ・乃木小学校・湖南中学校・松江商業高等学校との三者連携を含む
教育機関とその他高大連携担当委員 矢島毅昌（保育学科講師）
- ・学生ボランティア活動推進での地域貢献担当委員
水 珠子（健康栄養学科助教）

2. 地域に関する教育・研究活動

【地域志向科目の位置づけ】

地域志向の教育に関する25年度の主な事業としては、各学科と教務委員会において、すでに開設している地域志向科目を選定し、平成26年度カリキュラムマップを作成し、同時に平成26年度授業計画書に「地（知）の拠点整備事業における地域に関する学修を行う授業科目一覧」として掲載する準備を行った。この整備により、学生の自主活動の中での地域課題探究心育成を目指す「地域志向」を含む科目履修、卒業研究への学びのロードマップを構築する基盤を構築した。

【履修証明プログラム開発開始準備】

研究に関しては、「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を目指すことを掲げた大学憲章に合わせ、「健康・保育・文化・観光」の専門分野を生かした共同研究の推進、さらにその成果を生かした履修証明プログラムの開発をめざし、拠点となるキャンパス・プラットフォーム「しまね地域共生センター」の開設準備を進めた。

【しまね地域共育・共創研究助成金】

しまね地域共育・共創研究助成金制度を創設し、平成25年度より助成金の運用を行った。松江キャンパスから4件申請、3件採択となり、地域志向の研究活動が促進された。また、平成26年度分については松江キャンパスから11件の申請があった。

【『地域研究と教育』vol.2の作成】

松江キャンパスの地域志向研究のリスト作成や、「地域」に特化した研究と地域貢献をめざす研究教育活動をまとめた冊子、『地域研究と教育』vol.2を作成した。これは、24年度版をより充実させ、最新情報を盛り込んだ改訂版である。なお、同誌に掲載した研究・教育課題名と研究者名は以下の通りである。

健康栄養学科		
<地域の「食」と栄養の専門研究>		
1	島根県産「つや姫」のおいしさに関する研究	健康栄養学科
2	西条柿の食品開発研究	赤浦和之教授

3	しまね和牛の食味研究	籠橋有紀子准教授、石田千津恵助教、川谷真由美助手、水珠子助教
4	大学と行政が連携して行う地域交流型食育推進の検討	名和田清子教授、川谷真由美助手
5	地域振興に活かす特許	籠橋有紀子准教授、直良博之教授、名和田清子教授
<教員と学生による患者会支援活動>		
6	小児糖尿病大山サマーキャンプ	名和田清子教授
7	炎症性腸疾患患者会食事学習会	名和田清子教授
<学外への協力事業>		
8	「やすぎどじょう」を使用したレシピの考案	石田千津恵助教、名和田清子教授
9	松江市健康フェスティバルへの参加協力	名和田清子教授、川谷真由美助手
10	松江市：松江市の食育推進実行部隊である「食部会」での活動	名和田清子教授
11	雲南市：「うんなん鯖パンプロジェクト・うんなんスイーツの杜プロジェクト」	名和田清子教授、石田千津恵助教
12	奥出雲町：「野菜産地ツアー」への参加協力	名和田清子教授
13	安来市：米のモニタリング調査・食味調査の実施	安藤彰朗教授、石田千津恵助教、川谷真由美助手
14	農林水産省・島根県：第4回食育推進全国大会	石田千津恵助教、川谷真由美助手、健康栄養学科
15	松江保健所：1日食品衛生監視員	安藤彰朗教授、石田千津恵助教、川谷真由美助手
16	コープフェスティバルへの参加	名和田清子教授、水珠子助教
17	しまねオーガニックフェア	名和田清子教授
18	松江商工会議所：「まつえ駅前活き活き青空」への参加協力	川谷真由美助手、安藤彰朗教授、直良博之教授、石田千津恵助教
19	サイエンスパートナーシップ（SPP）	健康栄養学科
20	小学校：乃木小学校での食育授業	直良博之教授、川谷真由美助手、水珠子助教
保育学科		
1	「全人的保育者養成を目指して一ほいくまつりという総合表現活動の取り組みー」	福井一尊准教授
2	虐待の早期発見と支援に向けて	藤原映久講師
3	島根県保育所（園）・幼稚園造形研究会への協力	福井一尊准教授
4	保幼小連携教育体制における多様性の研究	山下由紀恵教授、岸本強教授、福井一尊准

		教授、藤原映久講師、矢島毅昌講師
5	島根県における保育士・幼稚園教諭の採用実態と人材養成の課題	山下由紀恵教授、岸本強教授、小山優子准教授、福井一尊准教授、矢島毅昌講師
6	保幼小連携教育の現状と課題	山下由紀恵教授、岸本強教授、白川浩教授、福井一尊准教授、藤原映久講師、矢島毅昌講師 【学外】島根県教育庁義務教育課、島根県健康福祉部、青少年家庭課、松江市教育委員会小中一貫教育推進課、松江市健康福祉部子育て課、益田市保育研究会
7	保育専門職育成のための「表現とコミュニケーション」ワークショップ・プログラムの開発	山下由紀恵教授、福井一尊准教授、(故)森山秀俊教授 【学外】NPO法人あしぶえ、松江市健康福祉部子育て課
8	「幼保一体化保育」体制の現状と課題	山下由紀恵教授、岸本強教授 【学外】島根県健康福祉部青少年家庭課、松江市健康福祉部子育て課、雲南市健康福祉部子育て支援課
9	しまね子育て支援専門職ネットワーク構築に向けた領域横断的カンファレンス・プロジェクト	山下由紀恵教授、名和田清子教授、出雲C：三島みどり元教授
10	教員と学生による地域支援ボランティア	保育学科
総合文化学科		
1	小泉凡教授のハーン研究と地域貢献	小泉凡教授
2	へるん探求	小泉凡教授、松浦雄二准教授
3	出雲神話翻訳研究会	藤岡大拙名誉教授、小泉凡教授、小玉容子教授、松浦雄二准教授、村上桃子講師、クリス・ラング講師、竹森徹士元准教授
4	「魅力ある松江の観光を考える」シンポジウムへの参加	工藤泰子准教授
5	観光フィールド・トリップ	小玉容子教授、松浦雄二准教授、マユアキ教授、クリス・ラング講師
6	アジア文化交流	塩谷もも准教授
7	アジア文化演習	鹿野一厚教授、塩谷もも准教授
8	地域探検学	鹿野一厚教授、小泉凡教授、工藤泰子准教授、塩谷もも准教授
9	日本古典文学を歩く	村上桃子講師

10	日本文化演習	渡部周子講師
11	おはなしレストランはじまるよ！－読み聞かせによる人間力の育成－	岩田英作教授、マユ－あき教授
12	絵本専門図書館「おはなしレストランライブラリー」の誕生	岩田英作教授、マユ－あき教授
13	全国図書館大会島根大会における分科会の共催	石井大輔講師
14	文化情報誌「のんびり雲」	大塚茂教授、鹿野一厚教授
社会教育・地域貢献		
1	椿の道アカデミー－20周年を迎えた社会人向け公開講座－	小泉凡教授
2	卒後教育としての「栄養士のためのステップアップ講座」	健康栄養学科
3	出雲キャンパスとの連携事業 社会人の学び直しニーズ対応 「子育て支援専門職再教育」事業	山下由紀恵教授、名和田清子教授、高橋憲二元教授、出雲C：三島みどり元教授、出雲C：濱村美和子講師、出雲C：山下一也教授 【学外】日本助産師会島根県支部、島根県栄養士会、島根県保育協議会、島根県国公立幼稚園長会、島根県特別支援学校、島根県看護協会（保健師職能）、島根県社会福祉協議会福祉人材センター、松江市健康福祉部子育て課、松江市教育委員会特別支援教育課、出雲市地域振興部少子対策課、浜田市市民福祉部子育て支援課、島根県健康福祉部健康福祉総務課
4	COC事業共同研究 地域とともに育む「ふるさと教育」共同プロジェクトー北東アジア地域学術交流研究助成金－ 「地域資源と協同的体験を保育教育課程に生かす「ふるさと教育」の研究ー島根県益田市モデルー」	山下由紀恵教授、鹿野一厚教授、矢島毅昌講師 【学外】白梅学園大学大学院 無藤隆教授、島根県中山間地域研究センター、益田市保育研究会、益田市教育委員会、益田市福祉環境部、アンダンテ21、益田市民活動推進協議会

【キャンパス・フォーラム】

3月7日には、「地域共生へのアプローチ」をテーマに、研究準備協議会（キャンパス・フォーラム）を開催した。健康栄養学科は「食を通じた島根の活性化」、保育学科は「地域早期支援

の仕組みを考える」、総合文化学科は「地域と子ども・ふるさと教育・読み聞かせ」をテーマとし、各学科で進行中の地域志向研究について学外協力者を交えて発表を行った。その後、3名のコメンテーターによる発表内容および本学COC事業へのコメントをいただいた。以下に当日のプログラムと写真を掲載する。

[研究準備協議会「地域共生へのアプローチ」プログラム]

13:00 開場

13:30-13:40 ご挨拶・概要説明 島根県立大学短期大学部副学長 山下由紀恵

【1】発表 健康栄養学科 「食を通した島根の活性化」

13:45-14:15 総括 島根県立大学短期大学部教授 名和田清子

〈発表〉島根県立大学短期大学部教授 赤浦和之

島根県立大学短期大学部准教授 籠橋有紀子

【2】発表 保育学科 「地域早期支援のしくみを考える」

14:20-14:50 総括 島根県立大学短期大学部教授 山下由紀恵

〈発表〉川本町教育委員会派遣指導主事 笠井修

川本小学校通級指導教室教諭 大山英子

島根県立大学短期大学部教授 山下由紀恵

【3】発表 総合文化学科 「地域と子ども・ふるさと教育・読み聞かせ」

14:55-15:25 総括 島根県立大学短期大学部教授 鹿野一厚

〈発表〉島根県立大学短期大学部教授 小泉凡

松江市産業観光部観光文化課文化係長 真野啓子

島根県立大学短期大学部教授 鹿野一厚

島根県立大学短期大学部教授 岩田英作

【4】COCへの期待 コメンテーター

15:30-15:50 公益社団法人島根県栄養士会会長 山本綾津子

島根県立大学短期大学部講師 藤原映久

松江観光協会観光文化プロデューサー 高橋一清

(質疑応答)

【5】全体総括

15:55-16:20 「松江キャンパス地域共生へのアプローチ」

4/1開設しまね地域共生センター長 小泉凡



キャンパス・フォーラムでは、総合文化学科工藤泰子准教授による「雲南市吉田町における観光振興—地域と協働した観光教育の実践」をテーマとしたポスター発表も実施された。過疎化が急速に進行する吉田町の人々と連携し、教育・研究活動の充実と地域振興を目指した、工藤准教授担当「観光資源学」（1年生後期）における取組みの報告である。なお、本発表は、「地（知）の拠点整備事業」、「平成25年度しまね地域共育・共創研究助成金」を受けて実施されたものである。

図1

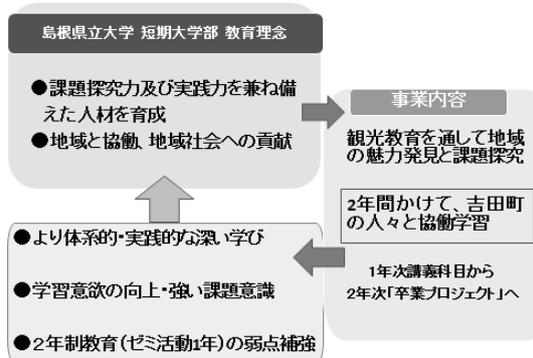
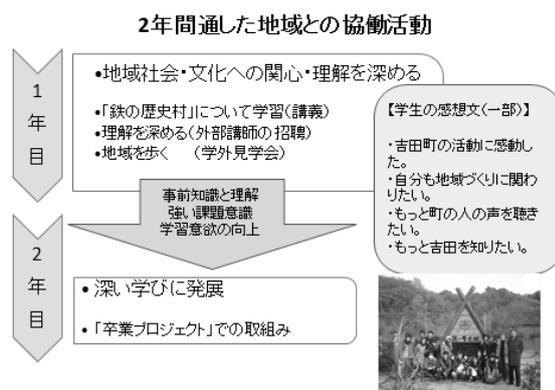


図2



工藤泰子「雲南市吉田町における観光振興—地域と協働した観光教育の実践」ポスター発表より

3. 公開講座等の開催

【平成25年度公開講座の概要】

平成23年度から、松江キャンパス利用者向け「椿の道アカデミー」会員制度を開始し、生涯教育、地域教育の拠点としての松江キャンパスの魅力づくりの推進を図ってきた。25年度は図書館利用者証を兼ねた「会員証」を、268名に支給した。

「椿の道アカデミー」における各講座は、それぞれの趣旨や内容に従って、通常複数回の講義や実習等を提供し、受講者数も独自に定めている。平成25年度の「椿の道アカデミー」では合計12講座、78回を開講することとし、受講者を募った。結果、総申込者数280名の内、登録者数は268名であった（「平成25年度公開講座会員登録者数」参照）。これを割合に変換すると、約96%の登録率である。なお、「山陰民俗学会連携講座：民俗の行方～山陰のフィールドから考える」、「民族音楽の楽しみ：ガムラン教室」、「椿の道読書会」そして「健康栄養講座：島根の食と健康」が、「まつえ市民大学」連携講座の一部であることから、この市民大学関連の受講生も上記中の該当講座を受講している。

平成24年度は、「椿の道アカデミー20周年記念特別講座」の参加者を含め、延べ1,927名だったのに対し、25年度は1,968名と増加している。特別講座で好評だった講座が、通常講座として実施できた事によるものと思われる。なお、平成25年度公開講座の開催状況については、一覧表を248頁に掲載している。

平成 25 年度 公開講座会員登録者数(H26, 3 月末)

講座名	定員	申込	登録	登録率
1. 総合文化講座	100	104	100	96%
2. 源氏物語を読む	100	100	97	97%
3. 出雲神話翻訳研究会	100	65	64	98%
4. 英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦	10	15	12	80%
5. 椿の道読書会	15	17	16	94%
6. 子育て・孫育てのための子ども理解講座	15	22	22	100%
7. 健康栄養講座	20	25	22	88%
8. 栄養士のためのステップアップ講座	40	19	19	100%
9. 食育講座	20	19	18	95%
10. 山陰民俗学会連携講座	100	38	38	100%
11. 民俗音楽の楽しみ	25	23	21	91%
12. 文化資源探求講座	50	86	65	76%
合計	595	533	494	93%
申込者実数	*	280	268	96%

【当事者と異なる視点で—子育て・孫育て世代のための子ども理解講座】

保育学科の矢島毅昌講師は「子育て・孫育て世代のための子ども理解講座」を開講した。本講座では、一般社会人を対象に、子育て・孫育ての当事者とは少し異なる視点から子ども理解を深めることを目的とする講義が行われた。第1回「子どもを育むコミュニケーション」では、子どものコミュニケーション能力の低下をめぐる問題について、コミュニケーションは協働で達成されるものであり、個人の能力の高低の問題ではないこと等が紹介された。第2回「子ども向けの文化財」では、文化財の善し悪しの多様性や、新たなメディアの悪影響への不安に惑わされないことの大切さ等が紹介された。第3回「子どもをとりまく社会現象」では、「子育てが困難な社会」という現象が、「正しい」子育て法の問題点や、「子育てもそれ以外もパーフェクトな親」を理想とする価値観の危険性等の視点から紹介された。受講者にとって、実用的な知識や技術とは趣の異なる教育学的な視点による学びの場となった。

【栄養士のためのステップアップ講座】

管理栄養士国家試験の合格を目指す栄養士の卒後教育として、島根県内の栄養士を対象として開催した。ここ五年間の延べ参加者は100名を超えた。本学HPの在学生・卒業生総合支援web『Camellia (カメリア)』に質問掲示板を立ち上げ、日程が合わない、遠方で来られないという方でも、随時質問ができるよう対応した。合格後も情報提供を希望する人が多く、卒業後や国家試験合格後も繋がりを絶やすことなく、地域に貢献できる講座を目指している。

【英語絵本の読み聞かせ】

平成25年度は成人対象の「英語絵本の音読と『読み聞かせ』に挑戦」講座を実施した。受講者数は11名で、和気あいあいとした雰囲気で行えた。最終回はおはなしレストランライブラリーでの読み聞かせの実践を行い、ライブラリーに来ていた子供たちが熱心に英語絵本の読み聞かせに耳を傾けてくれた。



【地方学会と連携した公開講座】

山陰民俗学会連携講座「民俗の行方—山陰のフィールドから考える—」

山陰両県の民俗研究を支えてきた山陰民俗学会と連携した講座を開始した。テーマは民俗の行方。高度成長を経た日本では、日常の暮らしや祭り、民俗は著しく変容した。新しい暮らしや様変わりした祭りの行く末はどうか、民俗の何が変わり何が変わらないのか、民俗の変容を山陰のフィールドから4回にわたって考えた。テーマは「護符文化の変遷」「年中行事・祭りの変化と継承」「民俗芸能の伝承と学校教育」「出雲・石見の年中行事のいま」で、講師は同学会員および本学教員がつとめた。

【フィールドトリップ講座】

文化資源探求講座：出雲神話をあぐる

学内の座学ではなく、外に出て、山陰の文化資源を五感で観察、探求しようという趣旨の講座で、参加者のご要望にこたえて24年度の「椿の道アカデミー20周年記念事業」の一部を継続する形で実施した。

計51名の参加者は10月14日（祝日）、3台の小型バスに分乗して、安来市荒島地区の王陵の丘周辺の古墳・墳墓群、清水寺、かたりのおみいまる語臣猪麻呂の伝承地、黄泉比良坂、いや揖夜神社、あだかや阿太加夜神社など、主として出雲東部の史跡や出雲神話ゆかりの地を歩いた。NPO法人出雲学研究所会員で元山陰中央新報社論説委員

の岡部康幸氏と小泉凡教授が講師として同行し、さらに現地の専門家による説明をきいた。

神話の伝承地がごく身近にある出雲。その文化資源の豊かさを再認識できる一日だった。



古代出雲王陵の丘（安来市）

【26年度公開講座の準備】

従来の松江キャンパス地域連携推進センターの事業内容を、しまね地域共生センターへ移行す

る準備を行うとともに、平成 26 年度公開講座においてより地域志向色を強めた形で講座の拡充を図った。具体的には、人気の高い文化資源探求講座を 1 講座から 2 講座に拡大し、そのうち「松江ゴーストツアー」は NPO 法人松江ツーリズム研究会との連携講座として実施することとした。全体としては 25 年度より 2 講座増え、14 講座を開講することとなった。

【客員教授による講演会の公開】

25 年度は各学科で客員教授による講演会を実施し、椿の道アカデミー会員や一般に公開した。各学科の客員教授講演会の概要は以下の通りである。

① 健康栄養学科

日時：平成 25 年 12 月 6 日（金）

講師：川崎医療福祉大学副学長 中坊幸弘氏

テーマ：「栄養士・管理栄養士のこれまでとこれから」

参加者：学生 84 名、教職員 11 名、学外 5 名 合計 100 名

② 保育学科

日時：平成 25 年 7 月 13 日（土）

講師：白梅学園大学大学院教授 無藤 隆氏

会場：本学大講義室

テーマ：「新しい保育・幼児教育の仕組みと専門性の向上への期待」

参加者：学生、教職員および学外者約 190 名

③ 総合文化学科

講義 1

日時：平成 25 年 6 月 26 日（水）

講師：詩人・絵本作家 アーサー・ビナード氏

テーマ：「和」のこころの移り変わり

会場：本学大講義室

講義 2



▼客員教授講演会 無藤 隆氏

日時：平成 25 年 11 月 13 日（水）

講師：東京大学教授、文化資源学会初代会長 木下直之氏

テーマ：「町を歩けば—ハリボテの町・わたしの城下町・股間若衆たち」

会場：本学大講義室

参加者：講義 1・2 を通して、学生・教職員・学外からの参加者の合計 370 名

4. 地域活性化支援

(1) 企業・団体・NPO法人等との連携

松江キャンパスにおいては、25年度もNPO法人等、学外団体との協力を継続的に推進した。今年度は、健康栄養学科により食育推進での連携活動、総合文化学科の「おはなしゼミ」による県内各地での読み聞かせ活動等、多彩な連携事業を実施した。

平成25年度松江キャンパス学外団体との共催事業及び学外団体への協力事業

事業名称	本学担当者	事業内容	期間	参加者	備考
やすぎどじょう生産組合 安来市観光課	健康栄養学科 教授 名和田清子 助教 石田(坂根) 千津恵 嘱託助手 飛田香 TA 藤村紫那	「やすぎどじょう」を使用したレシピの考案	平成25年 4月～7月		健康栄養学科1、 2年生6名参加
文部科学省 地 (知)の拠点整備事業 島根県、島根県 農業技術センターとの共同事業	健康栄養学科教員	つや姫のおいしさに関する研究における食味官能試験	平成25年度		健康栄養学科1、 2年生80名参加
農林水産省 平成25年度6次産業化促進技術対策事業	健康栄養学科 教授 赤浦和之	島根県の農林水産物の6次産業化促進のためのワークショップ開催他	平成25年 10月31日、12月 5日		島根県の6次産業化促進に係る 検討会委員
島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)	健康栄養学科 教授 赤浦和之	西条ガキ熟柿ピューレ商業化生産のための温度管理技術の開発	平成25年度		健康栄養学科教員と企業との共同研究
島根県畜産技術センター 受託研究	健康栄養学科 准教授 籠橋有紀子	受託研究課題「飼料米を活用した『しまね和牛』肥育牛の出荷月齢早期化に係る牛肉品質の評価」の実施	平成25年 8月1日～ 平成26年 3月31日		健康栄養学科学生2名参加
島根県立大学学術教育研究助成金(共同研究)	健康栄養学科 准教授 籠橋有紀子	しまね和牛を利用した高齢者向けの食肉開発の試み	平成25年 7月1日～ 平成26年 3月31日		健康栄養学科教員と島根県畜産技術センターとの共同研究 健康栄養学科学生2名参加
島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金(地域貢献プロジェクト)	健康栄養学科 教授 名和田清子 教授 小柏道子 助教 石田千津恵 助教 水 珠子 助手 川谷真由美 主任看護師 手島由美子	大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発	平成25年度		健康栄養学科教員と学生、松江市との共同研究

平成 25 年度牛乳・乳製品利用料理コンクール 島根県 大会	健康栄養学科 教授 名和田清子	開催支援	平成 25 年 10 月 6 日		健康栄養学科学生 5 名ボランティア
炎症性腸疾患患者会 陽だまりの会	健康栄養学科 教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成 25 年 10 月 19 日	16 名	健康栄養学科学生 4 名ボランティア
炎症性腸疾患患者会 はなみずきの会 (浜田保健所)	健康栄養学科 教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成 25 年 11 月 10 日	15 名	
炎症性腸疾患患者会 倶楽部 UCD (出雲保健所)	健康栄養学科 教授 名和田清子	研修会の開催支援及び講師	平成 26 年 1 月 19 日	20 名	
第 40 回小児糖尿病大山サマーキャンプ	健康栄養学科 教授 名和田清子	第 40 回小児糖尿病大山サマーキャンプの開催支援	平成 25 年 8 月 5 日～ 12 日		健康栄養学科学生 10 名ボランティア
第 3 回しまねオーガニックフェア (島根県・島根県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会島根県本部主催)	健康栄養学科 教授 名和田清子	開催のための支援	平成 25 年 12 月 7 日		健康栄養学科学生 15 名ボランティア
イオン松江店	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせとダンス	平成 25 年 8 月	100 名	学生 12 名参加
出雲市立中央図書館 (ブックネット出雲)	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 8 月	20 名	総合文化学科学生 3 名参加
古志原公民館	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 9 月	50 名	総合文化学科学生 3 名参加
スティックビルおもちゃのひろば	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	20 名	総合文化学科学生 3 名参加
いりすの丘 tupera tupera 「しましまじん盆踊り」	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせとサポート	平成 25 年 10 月	30 名	総合文化学科学生 10 名参加
スティックビル松江市男女共同参画課催し	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	10 名	総合文化学科学生 5 名参加
浜田市金城町さざんか祭り「でまえとしょかん」(金城図書館ミッケの会)	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	30 名	総合文化学科学生 5 名参加

NPO 法人松江ツアーリズム研究会	総合文化学科 教授 小泉 凡	同 NPO 法人が管理・運営する小泉八雲記念館の顧問として、常設展示・企画展・レプリカ作成・キャプション作成の監修を行う。また、松江ゴーストツアー(月1回)、ミステリーツアー(年2回)、まち歩き(年1回)の講師をつとめる。	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月		
焼津市教育委員会	総合文化学科 教授 小泉 凡	焼津小泉八雲記念館の名誉館長として、児童向け講演「妖怪に学ぼう」(8月3日)、焼津ゴーストツアー(8月4日)、文芸作品コンクールへのメッセージ執筆、26年度企画への助言等を行う。	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	講演 会・ゴ ースト ツアー 参加者 20 名	
「子ども塾—スーパーヘルンさん講座—」 (松江市観光振興部観光文化課 主管・子ども塾 実行委員会主 催)	総合文化学科 教授 小泉 凡	子どもの五感を育む教育実践「子ども塾」を実施・運営し、塾長をつとめる。テーマは生物多様性。島根大学附属小学校の教員、兵庫県立人と自然の博物館と連携して実施。	平成 25 年 8 月 17 日、 19 日、20 日	参加児 童 6 名	
ニューオーリンズ友好都市提携 20 周年記念事業 (松江市観光振興部国際観光課 主管、同実行委 員会主催)	総合文化学科 教授 小泉 凡	実行委員長として、事業の企画・運営にあたる。小泉八雲記念館「ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン展」(10月—3月)、記念式典・リトルマルディグラほか(10月6日)	平成 25 年 8 月～平成 26 年 1 月	記念式 典参加 者 230 名、リ トルマ ルディ グラ参 加者 200 名	
アイリッシュ・フェスティバル in 松江 2014 (松江市観光振興部国際観光課 主管、アイリッ シュ・フェス ティバル実行委 員会主催)	総合文化学科 教授 小泉 凡 准教授 工藤泰子	同事業の実行委員長・委員として企画・運営にあたる。	平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月	パレ ード参 加者 280 名	総合文化学科学 生 6 名参加

【健康栄養学科の地域活性化支援】

健康栄養学科においては、平成 25 年度は、食育活動として、島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金を受け、健康栄養学科教員および学生が、松江市と共同で、「大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発」を行った。また、乃木小学校の 5 年生を対象として「からだのリズムと朝ごはん」について、松江市立湖南中学校、第四中学校の中学生を対象として、サイエンスパートナーシップ「美味しさと健康のサイエンス」での食育を行った。島根県産品の振興を図る取り組みとしては、「やすぎどじょう」を使用したレシピの考案や、島

根県産米「つや姫」、しまね和牛等の科学分析、西条柿熟柿ピューレを利用した食品開発等を行った。やすぎどじょうのレシピの考案では、2年生は、どじょうを春巻きの皮で包み揚げ、独自のソースをディップして食べる「どじょうスティック」を、1年生はどじょうをオイルサーデンの要領で油漬けし、ピザ生地にした「どじょうリアン pizza」を提案した。



1年生の作品「どじょうリアン pizza」(左)



および2年生の作品「どじょうスティック」(右)

島根県産米「つや姫」の科学分析では、温暖化により品質の低下している平坦地域の「コシヒカリ」に替わる米として、「つや姫」の普及拡大を目的に、島根県、島根県農業技術センターと共同で官能試験、理化学分析（電子顕微鏡で炊飯米断面の構造を観察、テンシプレッサーで炊飯米物性（粘りと硬さ）を機械的に測定）を行った。早期出荷された「しまね和牛肉」の品質評価手法の検討について、平成25年8月から平成26年3月において、健康栄養学科教員（代表者籠橋有紀子准教授）および学生2名が島根県畜産技術センターとの受託研究において協力し、官能試験および理化学分析を用いて「しまね和牛肉」の食味を科学的に評価し、データの提供を行った。成果の一部は、平成26年2月の卒業研究発表会において発表を行った。さらに島根県、島根県農業技術センターと本学栄養学科共同で「島根県産つや姫の美味しさに関する研究」に取り組み、「つや姫」の食味を科学的に評価した。西条柿熟柿ピューレを利用した食品開発では、東出雲の柿農家と健康栄養学科教員（赤浦和之教授）との共同で熟柿ピューレを用いた2種類の



飲料、炭酸飲料「酢(し)まね柿サイダー」と柿果汁入り飲料「酢まね柿っこ」の商品化を行った。さらに、平成25年度牛乳コンクール（島根県牛乳普及協会）（10月6日、於 島根県立大学短期大学部松江キャンパス）では、学生5名がボランティアを務めた。また、地産地消推進のための支援として、平成25年12月7日には、第3回しまねオーガニックフェア（島根県・島根県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会島根県本部主催）に、学生15名がボランティアとして参加した。

熟柿ピューレを用いた「酢(し)まね柿サイダー」と柿果汁入り飲料「酢まね柿っこ」

次年度も引き続き、地域の活性化の観点から、西条柿では、西条ガキ熟柿の生産と熟柿ピューレを用いた加工食品の開発を行う。また、「しまね和牛肉生産技術の開発および品質評価手法の検討」を目的として、「しまね和牛肉」の食味について理化学分析および官能評価等の手法を用い、基礎データの集積・提供および加工に関する技術協力を行う。「島根県産つや姫の美味しさに関する研究」を目的として、「つや姫」の食味に与える効果について、官能試験等の手法を用いて検討し、データの提供・技術協力を行う。



「しまね和牛肉」の理化学分析（左） および官能試験（右）の様子

このほか、難病患者会の活動支援のため、健康栄養学科教員および学生がボランティアとして活動した[炎症性腸疾患患者会研修会「陽だまりの会（松江市）」（平成25年10月19日、教員1名、学生4名）、「はなみずきの会（浜田市）」（11月10日、教員1名）「倶楽部UCD（出雲市）研修会」（1月19日、教員1名）（教員1名、学生 名（1月19日）、小児糖尿病患者会「第40回小児糖尿病大山サマーキャンプ（主催：日本糖尿病協会島根県支部「大山家族）」にて教員1名、学生10名（8月5日～12日）]。

【保育学科の地域活性化支援】

保育学科においては、福井一尊准教授が、島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会顧問として県内保育所・幼稚園に連携協力し、平成25年11月25日に本学で園児の絵画作品審査会を実施した。同審査により選ばれた園児の作品は、島根県立美術館で平成25年1月16日から20日まで「第9回島根県保育所（園）・幼稚園造形作品展」として展示・公開された。

また福井一尊准教授は、平成25年11月2日に社会福祉法人島根県社会福祉協議会主催の「しまね県民福祉大会」において、「障がい者アートの魅力と可能性」と題したシンポジウムでコーディネーターを務め、島根県立美術館で12月6日から8日まで開催された「平成25年度島根県障がい者アート作品展」では審査委員長として絵画・書・写真・デザイン・工芸等の作品を審査し、展示・公開した。

また、平成23年度に山下由紀恵教授・森山秀俊教授・福井一尊准教授が、NPO法人あしぶえ・松江市健康福祉部子育て課との共同研究を通じて開発した「松江発—保育専門職のための『表現とコミュニケーション』ワークショップ・プログラム」の効果を土台として、昨年度に引き続いて本年度も保育学科の正課「児童文化」にNPO法人あしぶえによるワークショップを組み込み、一部連携した授業を実施した。

【総合文化学科の地域活性化支援】

総合文化学科では、しまね多文化共生ネットワークとの共催による「医療英語勉強会」（ラング・クリス講師）の開催、英語絵本の読み聞かせ（小玉容子教授）、卒業プロジェクトおはなしゼミによる読み聞かせボランティアの実施（岩田英作教授）、NPO 松江ツーリズム研究会と連携した文化資源をツーリズムに生かす実践活動（小泉凡教授）、松江観光協会主催の観光シンポジウムへの協力や（社）鉄の歴史村地域文化研究所・（株）吉田ふるさと村と連携した観光教育の実践（工藤准教授）など、昨年引き続き、活発な活動が行われた。

*「キッズイングリッシュ」の英語絵本読み聞かせ活動

平成 25 年度の「キッズイングリッシュ」（担当は小玉容子教授、総合文化学科 2 年前期）受講



生 24 名は、おはなしレストランライブラリーで「英語絵本の読み聞かせ」を行った。7 月から 9 月にかけて、絵本や紙芝居の読み聞かせと歌や手遊びなどを組み合わせ、20 分程度の時間で計 16 回実施した。

学生たちは、出版されている絵本だけでなく、授業で作成した教材なども用いて、児童英語教育実践活動を行うことができた。子供たちだけでなく保護者も一緒になっての活動となった。また、学生の実践力向上にとって貴重な体験となった。

*医療英語勉強会

「医療英語勉強会」は、島根に住む外国人を対象とした医療通訳育成・技能向上を目的として実施中の事業である。しまね多文化共生ネットワークと連携し、平成 20 年 4 月から平成 26 年 3 月にかけて、月に一度金曜日の午後に 2 時間ほど勉強会を実施している。勉強会参加者は、10 名程度である。（担当はラング・クリス講師）

勉強会では、実際の医療場面を想定したテキスト文の日本語から英語への翻訳学習を行ない、診療科ごとの通訳会話役割練習を行なう他、医療に関する研究報告をビデオでみてから、ディスカッションすることで、医療用語を身につけることを目的とした。

*松江ゴーストツアーおよびミステリー・ゴースト・ツアーの企画・実施

昨年度に引き続き、NPO 松江ツーリズム研究会と連携し、松江ゴーストツアーおよびミステリー・ツアーを企画・実施した。松江ゴーストツアー（へるんコース）は平成 25 年度中に 7 回開催され、小泉凡教授が「小泉八雲—異界への旅」というテーマでツアーに先立ち講演を行った。またミステリー・ツアーは島根県内のパワースポット、出雲神話、小泉八雲ゆかりの地を、参加者には事前に訪問地を知らせることなくバスで 1 日かけて巡る着地型観光プランである。実施日は①7 月 13 日（土） ②9 月 8 日（日）で、のべ参加者は 75 人、小泉凡教授が 2 回のツアーを企

画しガイド役をつとめた。

*「まち歩き」の企画実施

小泉凡教授は、NPO 松江ツーリズム研究会と連携し、小泉八雲記念館の企画展「ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン」および松江・ニューオーリンズ友好都市提携 20 周年に因み、「ハーンを魅了したニューオーリンズの文化に出会う松江さんぽ」を企画し、講師をつとめた。企画展のギャラリー・トークの後、松江市内で、ハーンとニューオーリンズに直接的・間接的に接点をもつ 5 か所を訪ね、五感で楽しんだ。実施日は 10 月 12 日（土）で 25 名の参加者があった。

*ちどりマップの作成

松江市への観光客誘致、松江城周辺のまち歩き人口の増加を目的に、観光文化ゼミ生 3 名による観光マップの作成を行った。「歩いてみいだわ ちどりまっぷ」（ウォーキング用）、「走ってみいだわ ちどりまっぷ」（ジョギング用）の 2 種類である。ゼミで松江歴史館を見学した際、入館者数が減少していることを知り、歴史館や松江城周辺の観光客を増やしたいという思いから、散策用の観光地図作成を企画した。また、取材中、城周りでジョギングをしている人を多く見かけたことから、ジョギング用マップも併せて作成することになった。

イラストはすべて手描きとし、近現代建築の情報や、ジョギング用には道の状態（信号機の有無や、道路の段差、交通量など）を記載するなどの工夫を取り入れた。これらの観光マップは、松江城周辺の観光施設数カ所に設置されている。



みいだわまっぷ 裏面



*ピンクのポスト・クッキーの製作・販売

松江市およびカラコロ工房への観光客増加、「幸運のピンクのポスト」（カラコロ広場に設置）の認知度を高めてポストの利用者を増やすことを目的に、観光文化ゼミ生 3 名がお土産用クッキーの製作・販売を行った。カラコロ工房、NPO 障がい者自立支援所ぼんぼん船（出雲市多伎町）と連携し、担当者と打合せを重ね、10 月の学園祭での市場調査、カラコロ工房での試験販売（11 月）を経て改良を重ね、1 月 26 日（日）、本格的に販売を開始した。初日は、学生たち自ら PR 販売を行った。

* 吉田町における観光教育の実践

工藤泰子准教授は、地（知）の拠点整備事業平成 25 年度しまね地域共育・共創研究活動助成金を受け、「雲南市吉田町における観光振興—地域と協働した観光教育の実践」と称した活動を行った。吉田町の地域活性化に取り組む（社）鉄の歴史村地域文化研究所、（株）吉田ふるさと村の人々と連携した観光教育を実践した。

(2) 自治体等との連携

松江キャンパスは、平成 19 年度に松江市との協力協定を締結し、その後は協定を踏まえ、教育連携協議会の開催や、「公開講座」でまつえ市民大学と連携するほか、松江市主催行事に本学教員と学生が協力するなど連携を強化している。正課教育において、松江市職員を非常勤講師とする複数の専門科目講義・実習、松江市立施設・学校における実習も継続して実施している。

【松江市主催文化教育行事への協力】

・「寺マルシェ」への協力

松江市青年会議では、11月23日に松江市石橋町の順光寺において寺マルシェを実施した。この事業の趣旨は、地域コミュニティの「心のよりどころ」としてのお寺、神社を会場としたイベントを開催し、そこで、地域生産物や芸術文化の発信などを通し、人々が交流し憩いを感じられる「場」づくり、にぎわいの創出を実現しようとするもので、「松江いいね！プロジェクト」の一環として実施されたものだ。本学からは、キラキラドリームプロジェクトで採択を受けた Shimane Specialty Smoothie プロジェクト（島根県特産品を使ったオリジナルスムージー開発）の総合文化学科 1 年生 2 名が、スムージーの島根特産のシャインマスカットを使ったスムージーの販売を、総合文化学科民俗文化資源ゼミ（小泉教授）の学生 7 名が、調査地である出雲市佐田町朝原の菜種油で揚げた佐田野菜の天ぷらとマンジロウ・カボチャのスープを提供した。また、小泉凡教授が、トークショーを行い、プロジェクトの評価委員もつとめた。



・「第 10 回子ども塾—スーパーヘルンさん講座」への協力

松江市観光文化課および「子ども塾実行委員会」主催による、子どもの五感力育成の教育実践である標記事業に、総合文化学科の小泉凡教授が塾長として、小倉佳代子非常勤講師・総合文化学科学生 1 名が企画・運営・実施に協力した。期間は、平成 25 年 8 月 17・19・20

日、会場は「出雲かんべの里」周辺。

・ニューオーリンズ市友好都市提携 20 周年記念事業への協力

松江市では 10 月 4 日から 6 日にかけて、ニューオーリンズ市からの訪問団 11 名を迎え、歓迎レセプション、小泉八雲記念館企画展「ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン」のオープニングセレモニー、レクチャーコンサート、友好都市提携 20 周年記念式典、リトルマルディグラ・フェアウェルパーティーを開催した。小泉凡教授が一連の記念事業実行委員会の委員長として、企画・運営に携わった。

・「アイリッシュ・フェスティバル in 松江 2014」への協力

松江市・(財)松江市観光開発公社・松江商工会議所・山陰日本アイルランド協会・京店・南殿町商店街が実行委員会を組織してアイルランドと松江の文化交流・松江の文化振興および中心市街地活性化の目的で実施する行事で、平成 26 年 3 月 9 日に開催。

総合文化学科小泉凡教授・工藤泰子准教授・小倉佳代子非常勤講師が実行委員として、松江キャンパスのティンホイッスル・サークル、総合文化学科「民俗・文化資源ゼミ」に所属する約 10 名の学生が企画・実施に携わった。

【自治体と連携した共同研究】

・平成 25 年度は、島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金を受け、健康栄養学科教員および学生が、松江市と共同で、食育の地域貢献プロジェクト「大学、行政、地域の連携による、青年層への食育プログラムの開発」を行った。

・平成 25 年度島根県立大学学術教育研究特別助成金による共同研究「島根県の保幼小連携教育体制における多様性の研究」の一環として、県内から幼稚園・保育所等の専門職者および行政担当者を集めて、平成 25 年度保育学科客員教授の無藤隆先生（白梅学園大学大学院教授）による講演会（参加者約 190 名）を開催した。また講演会后、松江市健康福祉部子育て課および松江市教育委員会と連携して「松江市接続期カリキュラム」研究発表会（参加者約 80 名）を開催した。なお同研究の本学のメンバーは、保育学科の山下由紀恵教授（代表者）・岸本強教授・福井一尊准教授・藤原映久講師・矢島毅昌講師である。

また山下由紀恵教授は、総合文化学科の鹿野一厚教授および保育学科の矢島毅昌講師と共同で、平成 25 年度島根県立大学北東アジア地域学術交流研究助成金による共同研究「地域資源と協同的体験を保育教育課程に生かす『ふるさと教育』の研究 ―島根県益田市モデル―」を実施している。1 年目となる平成 25 年度は、益田市保育研究会、益田市教育委員会、益田市市民活動推進協議会、NPO 法人アンダンテ 21、島根県教育委員会、島根県中山間地域研究センター等と連携して、「自然と人の暮らし」の地域資源研究を実施した。

【松江市青年会議等への協力】

・松江市の、若者によるまちづくりの推進を目的として平成 23 年 7 月に設置された「松江市青年会議」（政策部政策企画課所管）に総合文化学科学生 2 名が委員として参加した。また「21 世紀ウィメンズプロジェクト」（男女共同参画課所管）に総合文化学科学生 1 名が委員として参加し、松江市に協力する活動を行った。

【松江市立女子高等学校との連携】

・松江市立女子高等学校によるキャンパス見学と卒業生交流会

松江市立女子高等学校1年生のキャリア教育推進に協力して、1年生全員（120名）のキャンパス見学会を実施した。平成25年10月15日14:00から16:10まで、施設見学と模擬授業を実施した。模擬授業は、地域連携推進委員会からラング・クリス講師（TESOL、CALL）により「いろいろな英語取得法を体験してみよう」というテーマで行われた（会場：大講義室）。講義後に同じ大講義室で、松江市立女子高等学校卒業の本学学生（4名）との交流会があり、質疑応答が行われた。

【正課授業における連携協力】

- ・保育学科専門科目における、学外の専門職現任者および経験者による講義——保育学科専門科目「障害児保育Ⅰ」（1年後期必修科目・1単位）の非常勤講師として、松江市立発達・教育相談支援センター所長の河井克典講師、同指導主事の青木規子講師、松丘加奈講師、山根司津子講師により、支援の必要な子どもの実態や松江市の取り組み・関係機関との連携等についての講義が行われた。保育学科専門科目「児童館（児童クラブ）の機能と運営」（1年後期選択科目・2単位）の非常勤講師として、松江市立東津田児童館の石倉優子講師により、実際の児童館活動に関する講義が行われた。保育学科専門科目「乳児保育」（2年前期必修科目・2単位）の非常勤講師として、元松江市子育て支援センター所長の井上恵美子講師により、長年にわたる豊富な現場経験を基に講義が行われた。保育学科専門科目「地域福祉論」（2年後期選択科目・2単位）の非常勤講師として、元松江市社会福祉協議会常務理事の須田敬一講師により、松江市における地域福祉の実践例を通じた講義が行われた。
- ・総合文化学科専門科目における、学外の専門職現任者および経験者による講義——「詩と小説の創作」（日本語文化系1年生後期選択科目・1単位）の非常勤講師として、（社）松江観光協会・観光文化プロデューサーの高橋一清講師が、「しまねツーリズム論」（文化資源学系2年後期選択科目・1単位）の学外講師として、松江市産業観光部観光事業部長の錦織裕司氏、島根県商工労働部次長の井上道子氏、島根県教育庁文化財課世界遺産室主任の角俊一氏が授業（各1回）を担当した。また「地域探検学」（文化資源学系1年前期選択科目・1単位）では、現地研修において奥出雲町の全面的な協力を得て、授業を実施した。
- ・松江市立施設・学校における実習協力——健康栄養学科・保育学科の専門科目実習について、松江市立病院、松江市立学校給食センター、松江市立保育所、松江市立幼保園のぎ、松江市立幼稚園が協力し、実習指導を行っている（実習欄に別掲）。
- ・松江キャンパス近辺の幼・小・中学校との密接な連携協力——学生ボランティアが、松江市立幼保園のぎ、松江市立乃木小学校、松江市立湖南中学校等と、教育上の密接な連携協力を行っている。

このような緊密な教育上の連携を踏まえて、平成26年2月6日に「松江市・島根県立大学松江キャンパス・教育連携協議会」を開催し、実習協力や講師派遣について実務的に連携を協議した。実施要綱は、以下のとおりであった。

【平成 25 年度松江市・島根県立大学松江キャンパス・教育連携協議会】

1. 目的

- ・平成 19 年度の「松江市島根県立大学包括協定」にもとづく相互協力の趣旨に基づき、松江市と松江キャンパスの具体的な教育連携事業を見直す。
- ・年度末に、次年度のスムーズな相互協力関係に向けて、教育連携事業における実務的な協議を実施する。

2. 主催 島根県立大学短期大学部松江キャンパス

3. 会場 島根県立大学短期大学部松江キャンパス大会議室

4. 日時 平成 26 年 2 月 6 日（木） 13：30～15：00

5. 議題

- ・実習（栄養士・保育士・幼稚園教諭）受け入れ協力についての情報交換
- ・講師の相互派遣についての計画
- ・共同研究・受託研究について
- ・施設使用の協力についての計画
- ・松江キャンパスにおける文部科学省「COC 知（地）の拠点事業」の取り組みについて
- ・その他

6. 松江市側参加者

- ・政策部次長 講武直樹
- ・政策部政策企画課副主任 秋原志帆（包括協定担当）
- ・松江市教育委員会 教育総務課長 須山敏之
- ・健康福祉部 子育て課長 岩田光弘
- ・観光振興部 観光文化課長 村尾 勝
- ・松江市発達・教育相談支援センター（エスコ）所長 河井克典

7. 松江キャンパス側参加者

- ・副学長 山下由紀恵
- ・健康栄養学科長 名和田清子
- ・保育学科長 岸本 強
- ・総合文化学科長 小玉容子
- ・地域連携推進センター副センター長 小泉 凡
- ・地域連携推進センター教育連携担当委員 矢島毅昌
- ・事務室長 樋野輝男
- ・管理課長 上代勇夫

なお、松江市との教育連携協議会は、26 年度以降はより連携範囲を拡大し、しまね地域共生センター教育連携協議会として実施する予定である。

5. 学生による地域貢献活動

【学生の自主的なボランティア活動】

平成 22 年度より、島根県立大学「学生地域ボランティア活動推進事業」の一環として、学生のボランティア保険加入を支援している。25 年度の学生のボランティア保険加入は、438 名。また学生の活動先は、以下のとおりであった。

●障害者・高齢者支援ボランティア

「松江医療センター」「さくらの家」「松江学園」ほか

●障害児支援ボランティア

「ふるさとあったかスクラム事業」「児童発達支援センターわっこ」ほか

●島根県青少年の家（サン・レイク）ボランティア

●松江市立幼保園のぎボランティア

「のぎっこまつり」「運動会・園児援助」

●保育所・幼稚園・学童保育ボランティア実習（個人）

県内外の幼稚園・保育所・小学校、リンゴ園ボランティア、「放課後のぎっこ広場」「安来市立十神小学校」「三瓶こだま学園」ほか

●災害ボランティア

「島根県災害ボランティア隊（南三陸町・住田町ほか）」「きっかけバス」

●アイリッシュ・フィスティブアル in 松江

●第 10 回子ども塾—スーパーヘルンさん講座

●第 20 回 2013 松江市環境フェスティバル

●第 3 回しまねオーガニックフェア

●市民ボランティアまつり

●米—1 グランプリ 2013

●第 11 回松江神在月だんだんウォーク

●松江シティ F C 試合運営ボランティア



【キラキラドリームプロジェクト～】

平成 25 年度より、学生（個人や団体）が自主的に企画する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助し、夢の実現を支援する事業がはじまった。公開審査会を経て、4 つのプロジェクトが採択された。

● キラキラ枠【補助額：100,000 円以内】

✓ Let's Go ダーツ de 夢探しの旅プロジェクト【補助決定額：60,000 円】

ダーツで決まる行先で出会う人の夢 100 人分を集め、その実現の手助けをする

● Come Back to Our Home プロジェクト【補助決定額：60,000 円】

島根にいながら留学気分を味わえる交流の場づくり

- ドリーム枠【補助額：300,000円以内】
- ✓ ご当地絵本製作プロジェクト【補助決定額：210,000円】
島根のお茶を知ってもらえるオリジナル絵本の製作
- ✓ Shimane Specialty Smoothie プロジェクト【補助決定額：150,000円】
島根県特産品を使ったオリジナルスムージー開発～地域イベントへの参加



公開審査会の様子

このうち、地域のイベントに積極的に参加をして地域活性化のために奔走したプロジェクトチームの活動内容を紹介する。

Shimane Specialty Smoothie プロジェクト～島根の新たなお茶スタイル！お茶の力で活性化！

● 【参加学生】

総合文化学科1年 竹本莉乃・倉橋萌佳（チーム名：TEAS）

● 【企画概要】

地域資源である「松江のお茶」と「島根の特産品」をふんだんに使った、美味しいオリジナルスムージーを商品開発する。味と健康・美容にこだわるため、健康栄養学科の人や多くの短大生にモニターとなってもらう。若い女性に訴求できるように、お洒落なポスターやリーフレットを作り、商品の魅力を伝えていく。商品化後は、地域のお祭り・イベントに出店し、スムージーを通じてお茶に親しみを持ってもらい、地域の活性化に貢献する。

● 【商品開発からスタート】

若い女性に人気のスムージーを商品にすることに決めた。スムージーの原材料は、抹茶と島根の特産品を使うことが企画上外せない条件だった。当初、「抹茶×いちじくスムージー」、「抹茶×出西しょうがスムージー」、「抹茶×シャインマスカットスムージー」の3種類を開発予定だったが、試作をいくら重ねても、いちじくと出西生姜は納得のいく味にならず、断念。「抹茶×シャインマスカットスムージー」の1種類に集中するこ



ととした。

試行錯誤を続ける中、品質が劇的に向上したのは、地元で活躍する野菜ソムリエの土井小百合さんに協力をお願いしてからだった。「これならいける！」そう確信できた。

●【原材料集めに奔走】

資金が潤沢ではなかったため、大社町のぶどう農家のところへ規格外品を安く提供していただくよう交渉をした。4軒の農家を紹介してもらい、実際に農園に訪問し、皆さんにご快諾をいただいた。長持ちさせるための保存方法のコツや、どの部分がおいしいのかを教えていただいた。



●【商品の魅力を伝えるためのグッズ作り】

商品の魅力を伝え、若い女性に、ピン！ときてもらうためのPRグッズを作成した。カップ、ポロシャツ、ポスター、チラシ等を作るため、プロのデザイナーとの打ち合わせは初めての経験で、自分たちの想いをカタチにしていく喜びを感じた。



デザイナーとの打ち合わせ風景



オリジナルポロシャツ



ロゴマーク

●【いざ出店！】

様々な人脈をフル活用してイベントの主催者に積極的にアポイントを取り、出店チャンスを開拓した。出店経験がなく、全てがゼロからのスタートだったが、作業手順や接客を試行錯誤で改善し、販売方法を確立していった。

市民が沢山集うイベントでは、日頃の学生生活では接する機会が少ない年代の方とのコミュニケーションを図るため、商品や活動内容を記載したチラシを手渡しするなどの工夫をした。活動の終盤は、イベントの主催団体から出店依頼がくるようになった。



参加したイベント

開催日	イベント名	主催者名
平成 25 年 10 月 13 日	島根県立大学短期大学部飛鳥祭	島根県立大学短期大学部
平成 25 年 10 月 19 日	松江水燈路	松江観光協会
平成 25 年 11 月 23 日	寺マルシェ	松江市青年会議
平成 26 年 2 月 16 日	ユナイテッド サークルフェス	松江市青年会議
平成 26 年 2 月 22 日	Café×bar 「灯」	Cafe×Bar 灯 実行委員会



●学生のコメント

(竹本)

初めて、自ら企画・交渉・実行を体験しました。プロジェクトをスタートさせたばかりのころは、ただひたすらやるという感じで回りがあまり見えていませんでした。しかし、スムージーの試作を重ねたり、イベント出店の交渉を進めていくうちに余裕ができ、楽しみながら活動をする事が出来たと思います。ぶどう農家さんや、デザイナーさん、松江商工会議所の方など、普通に学生生活を過ごしていたら出会うことはないような方々と出会うことができました。就職活動を控えていることもあり、世の中にはどういう大人がいるのかという視点で考えることもでき、刺激を受けました。

スムージーをPRするにあたり、各イベントでポスターとブラックボードを設置しました。ポスターも自分で作成しましたが、なかなか納得いくものを作ることができず、イベ

ントごとに違うデザインのものを作りました。最後に作ったポスターは、今までの経験を活かして納得いくものを作ることができました。ポスター1つ作ることもとても難しいと感じました。

私達の方で、どれだけお茶に親しみを持ってもらえたか、島根について知っていただけたか分かりませんが、本当に微々たるものだと思います。これから幾つかのイベントを控えています、その後も別の形ででも継続できたらいいと思っています。私達の今回のプロジェクトだけで終わるのはもったいないと思うので、今後も考えていきたいと思っています。今回は、このような素敵な機会を与えていただき、ありがとうございました。

(倉橋)

プロジェクトを通して、自分たちで一から考えて実行することの大変さや難しさを学びました。特に、試作では、どうしたら美味しくなるのかというところから、どうしたら若い人に好まれる味になるのか、というところまでハードルを上げて考えることがとても苦勞しました。ですが、諦めずに試作を重ねることによって本当に美味しくすることができ、ここでまず達成感を感じました。また、そのスムージーを人々に買って飲んでもらう時に口に合うのか不安がありましたが、実際、飲んでもらって「美味しかったよ」と言ってもらえた時は、また新たな達成感を得ることができました。

私は、会計を担当しましたが、初めての経験で始めは分からないことが多くで大変でしたが、周りの人に教えてもらってからきちんと管理をすることができ、本当に自分のためになりました。また、イベントに出店したことで接客をする機会があり、普段このような機会が無いので良い経験になりました。

高校の時から地元の活性化とPRをしたいという夢がこのプロジェクトで叶えることができ、本当にやってよかったと思いました。この経験を将来に役立てたいです。

【茶道部の活動】

昭和23年から続く本学において最も歴史をもつ茶道部は、茶道が盛んな松江において地域貢献に継続的に取り組んでいる。

・「松江城大茶会30回記念 特別座談会」への参加

「松江の茶の湯と本物志向に伝えるまちを目指して」座談会のメンバーとして、平成25年9月12日(木)、赤山茶道会館にて松浦正敬氏(松江市長)、田部真孝氏(田部美術館館長)らとともに、本学茶道部副部長(総合文化学科学生)が若者の立場からみた茶道文化について発言した。内容は同月29日(日)山陰中央新報特集紙面にて掲載された。

・「第8回ノスタルジックたてまち手仕事マーケット2013」への協力

堅町町内会主催による手仕事マーケット



手仕事マーケット2013

において、NPO 法人まつえ・まちづくり塾の出店に際し、本学茶道部員 2 名（総合文化学科学生）が抹茶の点て出しの協力をおこなった。

・「松江水燈路 2013」への参加

城山大茶会 30 周年を記念した城下町松江「水と光の幻想」水燈路のイベントの一環として、平成 25 年 10 月 19 日（土）午後 5 時から午後 7 時半まで、堀川遊覧船乗場のふれあい広場で、本学茶道部員 10 名（総合文化学科学生）が乗降客、観光客など約 100 人に、菓子付きで抹茶のおもてなしをした。同月 25 日付け山陰中央新報投稿欄「こだま」に、短大茶道部による心あたたまる点て出しに感銘を受けたという読者投稿があった。

【日本舞踊サークルの活動】

日本の伝統文化を国内外に伝える積極的な活動を展開する本学日本舞踊サークルは、今年度島根県立美術館において「出雲阿国展」が開催されたこともあり、多くのイベントで、歌舞伎の祖と伝えられる出雲阿国の踊りを復元した「阿国念仏踊り」を披露した。

・「第三回出雲伝統芸能祭」への参加

出雲伝統芸能フェスティバルが平成 25 年 7 月 28 日（日）、出雲大社神楽殿にて実施された。第一部出雲阿国のつどいでは本学日本舞踊サークル部員 7 名（総合文化学科学生）が「阿国念仏おどり」を演じ、第二部では中村獅童が「雨の五郎」を演じた。



出雲伝統芸能祭

・「松江水燈路 2013」への参加

松江水燈路において平成 25 年 10 月 19 日（土）、本学日本舞踊サークル部員 7 名（総合文化学科学生）が参加し、阿国念仏踊りを演じた。

・「安来 清水寺灯参道」への参加

清水寺灯参道の平成 25 年 10 月 20 日（日）根本堂ミニコンサート「阿国念仏踊りとバリ舞踊」において、本学日本舞踊サークル部員 7 名（総合文化学科学生）が阿国念仏踊りを演じた。

【ティンホイッスル・サークルの活動】

平成 26 年 3 月 8 日（土）・9 日（日）に開催された、アイリッシュ・フェスティバル in 松江 2014 のセント・パトリックス・デイ・パレードに参加するとともに、アイリッシュ・パブ「シャムロック」や屋台村の設営等、イベントのボランティア・スタッフとして協力した。

6. 教育機関等との連携—保・幼・小・中・高・大の教育連携

初等中等教育機関との教育連携については、平成 18 年度の協定締結以降、各学科における松江市立幼保園のぎ・松江市立乃木小学校・松江市立湖南中学校・松江商業高校との緊密な連携協力のもと、教員による特別授業のほか、学生による読み聞かせ実践・食育実践指導等の連携事業を実施し、教育的成果をあげている。

【大多和学園との連携協力】

25 年度は新たに学校法人大多和学園との連携協力に関する協定を締結し、3 月 27 日（木）11：00 から本学大会議室で調印式を実施した。なお協定は 4 月 1 日から発効となる。調印式への出席者は以下の通りである。



- 学校法人大多和学園：大多和理事長、豊田副校長、田中教諭（SSH 担当）
- 公立大学法人島根県立大学：本田理事長・山下短期大学部副学長・岸本教務学生生活部長（兼、保育学科長）、名和田健康栄養学科長、鹿野総合文化学科長、福井准教授（地域連携推進委員）
また、次のような連携協力項目を予定している。
- 大学の各種講座への参加
平成 26 年度椿の道アカデミー「英語絵本の音読を楽しもう」（中学生以上）
開催日：7 月 28 日、7 月 29 日、7 月 30 日、7 月 31 日、8 月 1 日
- 大学教員による出張講義
大多和学園 SSH 研究発表テーマに関連した講義等
- 大学による非常勤講師派遣
大多和学園 SSH 事業「コミュニケーション・メソッド（国際的に通用するコミュニケーション能力の育成科目）の教育課程の開発」
- 大多和学園からの進学者による高校訪問・大学説明会

【連携校協議】

平成 25 年 7 月 12 日に、幼保園のぎ、乃木小学校と松江キャンパスの三者連携会議が行われた。また、平成 25 年 5 月 20 日と平成 26 年 2 月 27 日に、湖南中学校、松江商業高校、松江キャンパスの三者連携会議が行われた。

このような緊密な教育上の連携をふまえて、今年度も昨年度に引き続き「連携校教育研究会」を開催した。大学教育にいたるまでのキャリア教育のあり方について、本学教員講師と連携校教員の間で質疑応答が行われ、大学教育側としても有意義な研究会となった。「連携校教育研究会」開催状況は以下のとおりであった。

[平成 25 年度連携校教育研究会]

1 期日 平成 25 年 8 月 19 日(月) 10:00~12:00

2 会場 島根県立大学短期大学部松江キャンパス 管理棟 2 階 大会議室

3 テーマおよび講師

テーマ:「地域連携とキャリア教育」

(1) 河部安男氏(島根県立大学浜田キャンパス地域コーディネーター)

「地域コーディネーターの役割」

(2) 赤名 文氏(島根県立大学短期大学部教務学生課 ソーシャルラーニング担当コーディネーター)

「大学と地域社会を結ぶ『大学関連携ソーシャルラーニング』について」

(3) 岩田英作氏(島根県立大学短期大学部教授、松江キャンパス キャリアセンター副センター長)

「キャリア教育で何を育てるかー地域連携との関わりのなかでー」

(4) 出席者の取組み事例・座談会

(5) 地(知)の拠点整備事業の紹介

4 参加者 幼保園のぎ 飯庭久美子園長ほか 1 名

乃木小学校 藤原利明教頭ほか 2 名

湖南中学校 園山信夫校長ほか 9 名

松江商業高校 足立充徳教頭ほか 3 名

浜田キャンパス 河部安男地域コーディネーター

松江キャンパス

岩田英作教授、地域連携推進センター小泉 凡教授、矢島毅昌講師、上代勇夫課長、藤原香緒里囑託員、赤名文コーディネーター 計 26 名

平成 25 年度松江キャンパス教育機関との連携事業

機関名・事業名称	本学担当者	事業内容	期間	本学参加学生	備考
Science Partnership Program (SPP) の実施	健康栄養学科教員	美味しさと健康のサイエンス	平成 25 年 8 月 5 日~8 月 7 日	健康栄養有志	松江市中学生延 52 名
江津市江津中学校	健康栄養学科教授 直良博之	教育コミュニティ創造ふるさと学習支援事業 食育講演会 「食べたものは体の中でどうなるのかーハッピーになる食事ー」	平成 25 年 11 月 29 日		江津中学校 全生徒
松江市乃木小学校	健康栄養学科教授 直良博之 助教 川谷真由美	食育授業 「からだのリズムと朝ごはん」	平成 25 年 12 月 13 日	健康栄養 4 名	5 年生 165 名参加

野波保育所所内研修会講師	保育学科 教授 岸本 強	所内職員研修会	平成 25 年 7 月 26 日		
出雲市保育協議会 保育士部会研修会	保育学科 教授 岸本 強	保育協議会研修会	平成 25 年 8 月 29 日		
松江市立しんじ幼 保園園内研修会講 師	保育学科 教授 岸本 強	園内職員研修会	平成 25 年 9 月 20 日		
浜田市保育連盟研 修会講師	保育学科 教授 岸本 強	保育連盟合同研修会	平成 25 年 10 月 30 日		
野波保育所所内研 修会講師	保育学科 教授 岸本 強	所内職員研修会	平成 26 年 2 月 28 日		
松江市立湖南中学 校	保育学科 講師 矢島毅昌	総合的な学習の時間 「フィールドワーク のまとめ」発表（1 年 生） 講評	平成 26 年 1 月 29 日		湖南中 1 年生 165 名参加
松江市立湖南中学 校	総合文化学科 教授 鹿野一厚	総合的な学習の時間 講師「フィールドワー クの行い方」	平成 25 年 6 月 13 日		湖南中 1 年生 165 名参加
松江市立湖南中学 校	総合文化学科 教授 小泉 凡	総合的な学習の時間 講師「地域探検の魅 力」	平成 25 年 6 月 13 日		湖南中 1 年生 165 名参加
松江市立内中原小 学校	総合文化学科 教授 小泉 凡	英語活動の時間 講 師「小泉八雲とアイル ランド」	平成 26 年 1 月 14 日		内中原小 4 年生 126 名参加
松江市立城北小学 校	総合文化学科 教授 小泉 凡	社会科「地域の文化を 受け継ぐ」の時間 講 師「小泉八雲と怪談」	平成 26 年 2 月 24 日		城北小 4 年生 105 名参加
松江市立湖南中学 校	総合文化学科 准教授 高橋 純	総合的な学習の時間 講師「発表の仕方につ いて」	平成 25 年 6 月 13 日		湖南中 1 年生 165 名参加
松江市立幼保園の ぎ	総合文化学科 教授 マユアキ 教授 岩田英作	3 学科共通科目「読み 聞かせの実践」	平成 25 年 5 月 ～ 平成 26 年 1 月	健康 9 名 保育 18 名 総文 47 名	
松江市立乃木小学 校	総合文化学科 教授 マユアキ 教授 岩田英作	3 学科共通科目「読み 聞かせの実践」	平成 25 年 5 月 ～ 平成 26 年 1 月	健康 9 名 保育 18 名 総文 47 名	
松江市立忌部小学 校	総合文化学科 教授 マユアキ 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プ ロジェクト「おはなし ゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 2 月	総文 11 名	
宍道子育て支援セ ンター	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プ ロジェクト「おはなし ゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 5 月	総文 3 名	
吉賀町双葉保育所	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プ ロジェクト「おはなし ゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 6 月	総文 4 名	
出雲市立久多美小 学校	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プ ロジェクト「おはなし ゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 6 月	総文 6 名	

雲南児童クラブ	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 8 月	総文 3 名	
海潮児童クラブ	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 8 月	総文 3 名	
鹿島子育て支援センター	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 9 月	総文 3 名	
江津市立江津中学校	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 9 月	総文 9 名	
東出雲錦新町保育園	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	総文 6 名	
石見養護学校	総合文化学科 教授 岩田英作 事務局 石倉義生	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	総文 3 名	
出雲市立中部小学校	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 25 年 11 月	総文 6 名	
島根県立三刀屋高等学校	総合文化学科 教授 岩田英作	総合文化学科卒業プロジェクト「おはなしゼミ」読み聞かせ	平成 26 年 2 月	総文 2 名	

出張講座(高大連携)の状況

(大学への派遣依頼を受け、専門領域の講義を高校生向けに行った場合)

期日	曜日	時間	テーマ (会場)	回数	担当者	相手先	参加者数
5月27日	月	9:00～12:50	五感でとらえた明治の松江～小泉八雲の世界～ 講義および現地研修	1	小泉 凡(総合文化学科教授)	松江市立女子高等学校	30
7月10日	水	14:30～16:20	子どもの言葉の育ちと絵本	2	矢島毅昌(保育学科講師)	島根県立大田高等学校	30
7月10日	水	14:30～16:20	神話のひみつ-ヤマタノヲロチ退治-	2	村上桃子(総合文化学科講師)	島根県立大田高等学校	28
11月14日	木	14:25～16:15	栄養学について ～栄養素とからだ～	2	安藤彰朗(健康栄養学科教授)	島根県立大東高等学校	30
11月14日	木	14:25～16:15	語学について	2	小玉容子(総合文化学科教授)	島根県立大東高等学校	14
11月14日	木	14:25～16:15	乳幼児の造形表現	2	福井一尊(保育学科准教授)	島根県立大東高等学校	62
2月22日	土	14:00～16:00	文部科学省委託事業「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」に係る学校図書館公開講座	1	岩田英作(総合文化学科教授)	島根県立三刀屋高校	30

【健康栄養学科の教育機関連携】

乃木小学校では、小学5年生165名を対象に、「からだのリズムと朝ごはん」をテーマとする食育授業に健康栄養学科教員（直良博之教授、川谷真由美助手）と学生4名が取り組み、朝ごはんの良いところやバランスの良い朝ごはんを児童と一緒に考えながら実施した。さらにH25年度は「サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）」に「美味しさと健康のサイエンス」が採択され、地元の中学校と連携してサイエンスの体験学習を実施した。テーマは『食・美味しさ・健康』とし、3日間連続で「講義と実習」と「調理と喫食」の内容を盛り込んだ参加型のプログラムを実施した。



▼食育授業風景 乃木小学校



▼SPP 授業風景 味覚とうま味の生理

【保育学科の教育機関連携】

保育学科の正課「児童文化」では、1年生2年生が合同で複数のパートに分かれて「児童文化」のための制作過程を学び、「ほいくまつり」開催によって地域の子どもたちと交流しつつ、大学での学びを還元している。この「ほいくまつり」の案内にあたって、松江市内保育所・幼稚園がポスター掲示・パンフレット配布に協力している。この「児童文化」の教育課程は、平成17年

度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」の選定を受けて全国的にも評価された。平成25年度「第40回ほいくまつり」は、平成25年6月29日（土）に島根県民会館大ホールで開催され、多くの親子が学生の作りだした歌唱・司会・影絵・劇などの「児童文化」を楽しみ学生と交流した。



▼島根県民会館大ホール入口：
来場者への手作りペンダントのプレゼント

「ほいくまつり」とは？

私たち島根県立大学短期大学部保育学科は、毎年6月島根県民会館大ホールに1,500人の子どもたちとその保護者を招待して『ほいくまつり』を開催しています。

この『ほいくまつり』というのは、私たち学生が日頃学内で学んでいることを総合表現として舞台上で発表することを通して県の児童文化向上に寄与するとともに、地域の子どもたちや保護者の皆様楽しく夢のあるひとときを過ごしてもらおうという趣旨で開催しているものです。

取り組みの軸となるのは実行委員会です。実行委員長、総合責任者、会計の三役を中心に各パートのリーダーを合わせた14人がその構成メンバーです。このリーダー会は定期的で開催され、各パートの要望や意見が交流されるとともに、話し合いを通じて方針が出されかつ総合的な指示が出されていくのです。

『ほいくまつり』の取り組みは、『児童文化』という授業の一環として行われますが、週に2回の授業の時間だけでは時間は全く足りません。そこで、準備はほぼ毎日、放課後残って行うこととなります。5月に入るとパート別のリハーサル、6月になると全体リハーサルが始まります。その場では先生方や他のパートの仲間たちから多くの課題点が出され、よりよいものを創るために各パートは議論をし、修正していきます。もちろん、なかなか自分たちの思うようにはいかず、みんなで悩みながら進めていくこととなります。しかし、その過程の中で協力することの大切さを学び、感性を磨いていくとともに、保育というものが要求する厳しさを知るのです。

当日、子どもたちの笑顔にたくさん出会えることは最高の感動ではありますが、同時に『ほいくまつり』の取り組み過程そのものが私たち自身に大きな自信と勇気と夢を与えてくれるのです。





▼平成 25 年 6 月 29 日 第 40 回ほいくまつり 保育学科一同



▼「第 40 回ほいくまつり」ステージ



▼来場者との交流

【総合文化学科の教育機関連携】

総合文化学科では、岩田英作教授・マユアキ教授とともに、「読み聞かせの実践」を履修する学生（全学科）、卒業プロジェクト「おはなしゼミ」の学生が、松江市乃木小学校（17 回）、忌部小学校（27 回）、幼保園のぎ（17 回）などで、絵本の読み聞かせ活動を行った。（「3. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動」参照）

また、総合文化学科の教員は、湖南中学校の「総合的な学習の時間」に協力した。詳細は以下の通りである。

* 湖南中学校 1 年生「総合的な学習の時間」への協力授業

総合文化学科の 3 名の教員は、湖南中学校における総合的な学習の時間に、専門分野や総合文化学科の担当授業の内容を生かして、昨年に引き続き協力授業を行った。小泉凡教授の授業は平成 25 年 6 月 13 日「地域探検の魅力—松江再発見の旅—」、鹿野一厚教授の授業は 9 月 19 日「フィールドワークの行い方」、高橋純准教授の授業は 1 月 21 日「発表の仕方」であった。対象は、1 年生 165 名であった。

7. 教育課程のための地域の施設・機関との連携

健康栄養学科、保育学科において実習先との連携の強化策を検討し、可能な部分から実施している。健康栄養学科では、栄養士養成のため各種給食施設等との緊密な連携を図っている。保育学科は、実習指導計画から実習評価に至るまで実習先と連携して実習成果の充実を図っている。

【健康栄養学科の実習施設・機関との連携】

栄養士免許を取得するためには、校外実習が必修である。平成25年度に実施した県内施設を下表に示した。実習終了後は、評価票の提出を求め、また、次年度の内容を検討する資料として、学生が作成した実習レポートを送付し連携を図った。また、実習先の管理栄養士を本学非常勤講師として招聘したり、学生を島根県栄養士会の研修会に参加させる等して連携強化を図っている。

平成25年度 校外給食実務実習依頼先一覧

地区	実習依頼先	実習人員	日程
島根	松江赤十字病院	4	8/19～8/23
			8/26～8/30
	松江市立病院	4	8/19～8/23
	独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター	4	8/19～8/23
	医療法人 社団創健会 松江記念病院	2	8/26～8/30
	松江生協病院	1	9/9～9/13
	玉造厚生年金病院	1	9/2～9/6
	社会福祉法人 松豊会 津田の里	3	9/3～9/6, 17
			9/9～9/13
	松江市立北学校給食センター	2	9/9～9/13
	松江市立西学校給食センター	2	9/9～9/13
	松江市立南学校給食センター	2	9/9～9/13
	島根県立中央病院	3	9/9～9/13
	出雲市立出雲学校給食センター	1	9/9～9/13
	出雲市立斐川学校給食センター	1	9/9～9/13
	安来市立広瀬小学校	1	9/9～9/13
	雲南市三刀屋学校給食センター	2	9/9～9/13
公立邑智病院	1	9/2～9/6	
独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター	1	8/19～8/23	
鳥取	米子市学校給食センター	3	9/2～9/6
広島	尾道市立市民病院	1	9/2～9/6
山口	阿東東学校給食共同調理場	1	9/2～9/6
	下松市立東陽小学校	1	9/2～9/6
愛媛	松山赤十字病院	1	9/9～9/13

【保育学科の実習施設・機関との連携】

保育学科では、「保育実習Ⅰ（保育所・施設）」「保育実習Ⅱ」については、「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について（厚生労働省雇児発第1209001号）」にもとづき、保育学科が実習施設を選定して実習指導委員会を設けている。毎学年度の始めに、この委員会の協議によって保育実習計画を策定している。

平成25年度 保育学科実習実施施設・機関

区分	所在	施設・機関名	備考
保育所	島根県松江市	松江市立城東保育所、松江市立白潟保育所、松江市立末次保育所、こばと保育園、しらとり保育所、しらゆり保育園、つわぶきこども園、つわぶき保育園、なかよし保育園、なの花保育園、ひよし第2保育園、みどり保育所、みのり黒田保育園、愛恵保育園、古志原保育所、松江ナザレン保育園、松江保育所、松尾保育所、嵩見保育所、袖師保育所、虹の子保育園、乃木保育所、法吉保育所、本庄保育所	1年前期・保育実習Ⅰ（保育所） 2年前期・保育実習Ⅱ
	島根県出雲市	えんや保育園、たき保育園、ねむの木保育園、ハマナス保育園、ひまわり第1保育園、ほくよう保育園、わたりはし保育園、伊波野保育園、神門保育園、神門第2保育園、莊原保育園、東部保育園、平田保育所	
	島根県雲南市	雲南市立かもめ保育園、雲南市立斐伊保育所、雲南市立三刀屋保育所	
	島根県安来市	城谷保育所、安来保育園	
	島根県奥出雲町	馬木幼稚園、阿井幼稚園	
	島根県大田市	大田市立大田保育園、大田市立久手保育園、大田市立静間保育園、あゆみ保育園、サンチャイルド長久さわらび園	
	島根県江津市	のぞみ保育園	
	島根県川本町	川本保育所	
	島根県浜田市	うみかぜ保育園、周布保育園	
	島根県隠岐の島町	双葉保育園	
	鳥取県米子市	キッズタウンかみごとう保育園、キッズタウンさくら保育園、福生保育園、仁慈保幼園、えんぜる保育園	
	鳥取県倉吉市	敬仁会保育所ババル園	
	鳥取県鳥取市	むつみ保育園	
	兵庫県豊岡市	豊陵保育園	
	愛媛県今治市	白鳩保育園	
	香川県宇多津町	わかくさ北保育園	
	埼玉県さいたま市	さいたま市立尾間木保育園	
	鹿児島県鹿屋市	わかば保育園	
	鹿児島県奄美市	笠利聖母保育園	
児童館・児童クラブ	島根県松江市	東津田児童館、八雲児童センター、乃木児童クラブ、乃木第2児童クラブ、乃木第3児童クラブ、やくも児童クラブ、大庭地区児童クラブ、古志原地区第2児童クラブ、津田第2児童クラブ、川津児童クラブ、城北児童クラブ、古江地区児童クラブ	1年後期・保育実習Ⅲ
	鳥取県米子市	米子市車尾児童館	
	鳥取県日吉津村	日吉津村立児童館	
	鳥取県八頭町	下南児童館	
	富山県高岡市	高岡市西部児童センター	

児童福祉施設等	島根県松江市 島根県出雲市 島根県安来市 島根県浜田市 島根県隠岐の島町 鳥取県米子市	松江赤十字乳児院、島根東光学園、双樹学院、松江学園、松江整肢学園、国立病院機構松江医療センター、島根県立わかたけ学園、しののめ寮 さざなみ学園 安来学園 聖鳴寮、こくぶ学園 仁万の里児童部 米子聖園天使園	2年前期・保育実習Ⅰ(施設)
幼稚園	島根県松江市 島根県安来市 島根県出雲市 島根県雲南市 島根県奥出雲町 島根県大田市 島根県江津市 島根県浜田市 鳥取県米子市 鳥取県倉吉市 鳥取県鳥取市 香川県坂出市 愛媛県今治市 兵庫県豊岡市 埼玉県さいたま市 鹿児島県鹿屋市 鹿児島県奄美市	松江市立幼保園のぎ、松江市立古志原幼稚園、松江市立大庭幼稚園、松江市立内中原幼稚園、松江市立城北幼稚園、松江市立母衣幼稚園、松江市立中央幼稚園、松江市立津田幼稚園、松江市立本庄幼稚園、松江市立揖屋幼稚園、松徳幼稚園 安来市立安来幼稚園 出雲市立荘原幼稚園、出雲市立西野幼稚園、出雲市立平田幼稚園、出雲市立塩冶幼稚園、出雲市立長浜幼稚園、出雲市立高松幼稚園、出雲市立四絡幼稚園、出雲市立大社幼稚園、出雲市立多伎幼稚園 雲南市立寺領幼稚園 奥出雲町立亀嵩幼稚園 大田市立大田幼稚園、大田市立久手幼稚園 江津市立江津幼稚園 浜田市立長浜幼稚園、浜田市立石見幼稚園、夕日ヶ丘聖母幼稚園 米子みどり幼稚園、みずほ幼稚園、にしき幼稚園 倉吉幼稚園 認定こども園ひかり幼稚園 香川大学教育学部附属幼稚園 今治めぐみ幼稚園 豊岡市立豊岡めぐみ幼稚園 浦和みずほ幼稚園 星幼稚園 奄美市立赤木名小学校付属幼稚園	2年前期・後期・教育実習

この実習施設・機関により構成された実習指導委員会で策定された実習計画により、実習全体の方針、実習の段階、内容、施設別の期間、時間数、学生の数、実習前後の学習に対する指導方法、実習の記録、評価の方法が明らかにされている。

「保育実習Ⅲ」については、実習施設を保育学科が選定して実習指導委員会を設けている。実習生、実習施設の指導者、本学実習担当教員が、それぞれ緊密に連絡をとりながら実習の効果を十分発揮するように努めている。

「教育実習」については、原則的に実習指導委員会を設けるが、学生が自主的に地元等の実習幼稚園を選定する場合は個別に対応している。実習生、実習幼稚園の指導教員、本学実習担当教員が、それぞれ緊密に連絡をとりながら、実習の効果を十分発揮するように努めている。平成25年度に保育学科が連携して実習を実施した実習施設・機関は上の表のとおりであった。

8. おはなしレストランライブラリーの地域連携活動

【読み聞かせの活動】

平成 25 年度、おはなしレストランで行なった絵本の読み聞かせ活動は次の 5 種類である。

- ◆松江市立幼保園のぎでの実践（5 月～7 月、11 月～1 月の毎週月曜日）

参加した学生数 75 名 読んだ絵本の冊数 255 冊

- ◆松江市立乃木小学校での実践（5 月～7 月、11 月～1 月の毎週水曜日）

参加した学生数 75 名 読んだ絵本の冊数 357 冊

- ◆松江市立忌部小学校での実践（4 月～7 月、10 月～3 月の毎週金曜日）

参加した学生数 11 名 読んだ絵本の冊数 153 冊

- ◆おはなしレストランライブラリーでの実践（4 月～2 月の毎週日曜日）

参加した学生数 11 名 読んだ絵本の冊数 76 冊

- ◆出前シェフ（不定期）22 カ所での実践

参加した学生数 11 名 読んだ絵本の冊数 160 冊

幼保園のぎ、乃木小学校での実践は、健康栄養学科、保育学科、総合文化学科の 1 年生のうち、「読み聞かせの実践」を履修した 75 名が参加した。忌部小学校と本学おはなしレストランライブラリーで行なう「おはなしのじかん」は、総合文化学科 2 年生のうち、卒業プロジェクト「おはなしゼミ」の 11 名が参加した。「おはなしのじかん」は、常時 30 名前後の親子連れの来館があった。「おはなしのじかん」の特別企画として開催した 7 月の七夕会、10 月の大学祭企画、12 月のクリスマス会、そして 2 月の感謝祭では、100 名を超える親子連れでにぎわった。

不定期の取組として、学外の保育所や図書館などからの要望を受けて読み聞かせに出かける「出前シェフ」は、平成 25 年度は合計 22 か所で活動を行なった。松江市内の保育所をはじめ、イオン松江店、グループホームアンジュ、江津市立江津中学校、島根県立三刀屋高等学校など、中高生や高齢者を対象にした活動も積極的に行なった。また、斐川いりすの丘での実践では、絵本作家の tupera tupera さんとのコラボレーションを実現することができた。



江津中学校



グループホーム アンジュ



イオン松江店

【おはなしレストランライブラリー】

おはなしレストランライブラリーは、平成 23 年度に学内・学外に向けて開館し、3 年が経過した。学内の学生はもとより、学外からの一般来館者も徐々に増え、平成 25 年度は、月ごとの

来館者が約 1200 名、貸出冊数が 3000 冊を超えた。

平成 25 年度は、書架や絵本を大幅に充実させることができ、大型絵本専用の書架を設置したり、絵本の複本をそろえることができた。

また、大学正門にライブラリーの看板を設置して、開館・閉館を利用者に知らせることができるようになった。



【講演会・ボランティア活動】

おはなしレストランでは、平成 25 年 10 月 26 日（土）27 日（日）の両日、児童文学作家富安陽子さんをお招きし、初日はおはなしゼミのスタッフ・学生との交流会、2 日目は学生、一般を対象とした講演会「妖怪とのつきあい方、おしえます」を開催した。

これまでおはなしレストランでは震災支援のボランティア活動を行ってきたが、平成 25 年度からは、松江市民によるカンボジア支援に協力している。月に 1 回、おはなしレストランライブラリーを利用して、カンボジアの子どもたちに送る文具や衣類の梱包を市民と学生が協力して行っている。



児童文学作家 富安陽子さん講演会



ライブラリーでのボランティア活動

島根県立大学短期大学部松江キャンパス公開講座「椿の道アカデミー」開催状況

開催日時	時間	講座名	講師	会場	受講者			
6月19日	14:00~15:20	01. 総合文化講座： 「文化とことば」について考える (全9回)	人は何をことばにするか？	高橋純	体育館研修室	70		
6月26日			祝福とともに生きる-『出雲国風土記』の地名伝承-	村上桃子		66		
7月17日			政治家はなぜ言葉を磨くのか -文化・政治・レトリカ（修辞学）-	村井洋 (浜田キャンパス)		67		
8月21日				心象文法の可能性を探る	河原修一		54	
8月28日			(水)		旅する現代アートと文学～造形美術展「オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン」の軌跡～	小泉凡	大講義室	58
9月18日					宮沢賢治と日本の近代文学	岩田英作		60
9月19日					翻訳作品で学ぶ英語の言語と文化	田中芳文 (出雲キャンパス)	体育館研修室	37
10月16日					旅と信じること：インドネシアからの メッカ巡礼を例として	塩谷もも		51
11月13日					朝鮮半島の文化を「理解する」？	福原裕二 (浜田キャンパス)		52
5月22日	14:00~15:30	02. 源氏物語を読む-恋に殉じた青年の話- (全8回)	三保サト子 (本学名誉教授)	体育館研修室	81			
5月29日	14:00~15:30				76			
6月5日	14:00~15:30				68			
6月19日	15:30~17:00				60			
6月26日	15:30~17:00				71			
7月10日	14:00~15:30				71			
7月17日	15:30~17:00				66			
7月24日	14:00~15:30				60			
6月21日	15:00~17:00	03. 出雲神話翻訳研究会	藤岡大拙 (本学元学長・名誉教授)	体育館研修室	41			
6月28日					現代語訳解説その2	37		
7月19日					現代語訳解説その3	41		
7月26日					現代語訳解説その4	34		
9月27日			英語訳解説その1	松浦雄二	16			
10月4日			英語訳解説その2	小玉容子	13			
10月11日			英語訳解説まとめ	藤岡大拙、松浦雄二、 小玉容子、ラングクリス	大講義室	10		
7月29日	10:40~12:10	04. 英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦 (全5回)	小玉容子	図書館 グループ閲覧室	10			
7月30日					10			
7月31日					(月)~ (金)	11		
8月1日					11			
8月2日					10			
5月20日	14:00~16:00	05. 椿の道読書会 (全8回)	北井由香	図書館 グループ閲覧室	14			
6月17日					13			
7月22日					9			
9月9日					(月)	9		
10月21日					4			
11月18日					9			
12月16日					9			
3月17日					7			
10月15日	14:00~15:30	06. 子育て・孫育て世代のための子ども 理解講座 (全3回)	矢島毅昌	図書館 グループ閲覧室	14			
10月22日				(火)	子ども向けの文化財	大講義室	12	
10月29日				子どもをとりまく社会現象	大講義室	8		

開催日時		時間	講座名	講師	会場	受講者
8月20日	(火)	19:00~20:30	07. 健康栄養講座：島根の食と健康 (全5回)	島根県における健康づくりへの取り組み	臨床栄養実習室	18
8月27日				健康寿命の生物学：加齢と老化		18
9月3日				糖尿病予防のメカニズムと地域食材の利用		17
9月10日				島根県の食材を利用した機能性食品について		17
9月17日		18:00~20:30	島根県の食材を使った調理実習	小柏道子、坂根千津恵、水珠子	調理実習室	15
7月10日	(水)	19:00~21:00	08. 栄養士のためのステップアップ講座 (通常講義全12回)	健康栄養学科教員ほか	臨床栄養実習室	12
7月24日						12
8月7日						10
8月28日						12
9月11日						14
9月25日						12
10月9日						14
10月23日						12
11月13日						11
11月27日						10
12月11日						12
12月25日						7
8月31日	(水)	10:00~16:30	08. 栄養士のためのステップアップ講座 (集中講義全4回)	健康栄養学科教員ほか	臨床栄養実習室	13
9月1日						14
9月21日						15
9月22日						12
8月24日	(土)	10:00~13:00	09. 食育講座：(続) 和食の基本調理実習 (全2回)	海の幸・魚料理「煮魚」+豆腐料理	調理実習室	14
9月7日				山の幸・野菜料理「天ぷら」+卵料理		14
7月6日	(土)	13:00~15:00	10. 山陰民俗学会連携講座：民俗の行方 (全4回)	護符文化の変遷	体育館研修室	21
7月20日				年中行事・祭りの変化と継承		17
8月10日				民俗芸能の伝承と学校教育		15
8月24日				出雲・石見の年中行事のいま		17
6月1日	(土)	14:00~16:00	11. 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室 (全10回)	瀬古康雄	体育館研修室	18
6月15日					秋奥 ガムラン音楽堂	17
7月13日						11
7月27日						10
8月3日						14
9月21日					体育館研修室	10
10月5日					秋奥 ガムラン音楽堂	8
10月19日						12
11月2日						11
11月16日						11
10月14日	(月・祝)	9:30~17:30	12. 文化資源探求講座：出雲神話を歩く-Part2-	岡部康幸、小泉凡		学外(松江市周辺)
						1968

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

1 講演会講師等

NO.	教員氏名	依頼者	内容(テーマ等)	日付
1	名和田清子（健康栄養学科教授）	私設図書館 曾田文庫	食育研修会 「食と健康」	平成25年5月11日
2	名和田清子（健康栄養学科教授）	島根県食生活改善推進協 議会	総会における研修 「食と健康」	平成25年5月14日
3	名和田清子（健康栄養学科教授）	公益社団法人島根県栄養 士会	勤労者支援事業部研修会 「新しい生涯教育制度について」「第7版糖尿病食品 交換表について」	平成26年2月9日
4	名和田清子（健康栄養学科教授）	出雲保健所	平成25年度炎症性腸炎患者・家族学習会 炎症性腸炎の食事について「いかに食べるか」	平成26年1月19日
5	名和田清子（健康栄養学科教授）	いずも糖尿病合同カン ファレンス	第20回いずも糖尿病合同カンファレンス 「糖尿病食事療法の現状と課題 ー糖尿病食品交換表 の改定を踏まえてー」	平成25年12月11日
6	名和田清子（健康栄養学科教授）	浜田保健所	はなみずきの会（浜田地区、炎症性腸炎の患者家族の 会） 食事学習会 「炎症性腸炎の食事療法について」	平成25年11月10日
7	名和田清子（健康栄養学科教授）	美都地域の農と食を語り 合う会	益田市美都総合支所・益田市市民活動推進協議会 講演 及び意見交換会「「地産地消で元気なまちづくり」	平成25年10月28日
8	名和田清子（健康栄養学科教授）	炎症性腸炎患者会 陽だまりの会	炎症性腸炎の食事学習会「「秋の味覚を楽しむ」	平成25年10月19日
9	名和田清子（健康栄養学科教授）	子どもの発達を考える会	食と心の講演会 「食と心の健康 ー今、子どもが危 ない！ー」	平成25年9月29日
10	名和田清子（健康栄養学科教授）	奥出雲町	いきいき元気教室 公開講座 「食生活の最新情報」	平成25年8月28日
11	名和田清子（健康栄養学科教授）	安来市	食の連絡会議研修会「食育の推進と連携について」 「食育の推進と食の現状について」	平成25年8月27日
12	名和田清子（健康栄養学科教授）	本の学校今井ブックセン ター	サイエンスカフェ「こどもの健康とごはんのはなし」	平成25年7月27日
13	名和田清子（健康栄養学科教授）	島根県住宅供給公社	家づくりセミナー「子育てと食育」	平成25年6月2日
14	名和田清子（健康栄養学科教授）	出雲ロータリークラブ	出雲ロータリークラブ例会「食とアンチエイジング」	平成25年5月21日
15	直良博之（健康栄養学科教授）	公益社団法人島根県栄養 士会	H25年度公益社団法人島根県栄養士会生涯学習 「管理栄養士・栄養士のための解剖・生理学講座」	平成25年12月1日
16	籠橋有紀子（健康栄養学科准教授）	中国地域産学官連携コン ソーシアム	1型糖尿病の予防および治療に寄与する脂質栄養とは？ ～ライフステージを通じて脂質栄養をコントロールす るためのツールの開発～	平成25年9月6日
17	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県保育協議会	第59回中国地区保育研究大会分科会助言者「保育者の資 質向上を図る」	平成25年7月4日
18	山下由紀恵(保育学科教授)	島根県健康福祉部	島根県市町村職員等専門研修会講師(児童福祉司任用資 格認定講習会)「母子関係理論と発達心理学」浜田・松江	平成25年8月22日 ・8月23日
19	山下由紀恵(保育学科教授)	安来市教育委員会	第2回特別支援教育コーディネーター会講師「保育所・幼 稚園から小中学校へつなぐ支援のあり方について」	平成25年8月27日
20	山下由紀恵(保育学科教授)	日本音楽療法学会	第13回全国大会講習会C-1講師「親子の発達ー個別相談 の役割と課題ー」	平成25年9月6日
21	山下由紀恵(保育学科教授)	日本音楽療法学会	大会企画シンポジウム話題提供者「音楽療法における新た なつながりー地域活動の立場から」	平成25年9月8日

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

22	山下由紀恵(保育学科教授)	松江市健康福祉部子育て課	第2回幼稚園・保育所職員スキルアップ講座講師「松江市保幼小接続カリキュラム説明」	平成25年11月19日
23	岸本 強 (保育学科教授)	出雲市保育協議会	「今、幼児期に経験して欲しい運動と遊び」	平成25年8月29日
24	小山優子 (保育学科准教授)	島根大学教育学部	島根大学教員免許更新講習・講師	平成25年7月28日
25	小山優子 (保育学科准教授)	松江市健康福祉部子育て課	「松江市幼稚園・保育所職員スキルアップ講座」講師	平成26年1月16日
26	福井一尊 (保育学科准教授)	雲南市子育てを考える会	「幼児の絵画表現の観方、受け止め方」	平成25年9月26日
27	福井一尊 (保育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	平成25年度しまね県民福祉大会 コーディネーター：シンポジウム「障がい者アートの魅力と可能性」	平成25年11月2日
28	福井一尊 (保育学科准教授)	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会	「描画表現指導研修会」	平成25年11月25日
29	福井一尊 (保育学科准教授)	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会	島根県保育所(園)・幼稚園造形教育研究会 作品展審査委員	平成25年11月25日
30	福井一尊 (保育学科准教授)	島根県社会福祉協議会	島根県障がい者アート作品展 作品審査委員長	平成25年12月4日
31	福井一尊 (保育学科准教授)	松江市保育研究会	「造形活動の援助と、立体作品の展示」	平成25年12月5日
32	岩田英作 (総合文化学科教授)	宍道子育て支援センター	育児講座「心に残る大切な絵本」	平成25年5月16日
33	岩田英作 (総合文化学科教授)	吉賀町双葉保育所	吉賀町双葉保育所講演会「絵本の読み聞かせ」	平成25年6月8日
34	岩田英作 (総合文化学科教授)	弥生の森おはなし広場	講演「読書と子ども～読み聞かせの意義と育つもの～」	平成25年6月15日
35	岩田英作 (総合文化学科教授)	NPOてんとう虫	平成25年度子どもゆめ基金助成活動「親子で読み聞かせを楽しもう」でのおはなし(てんとう虫の森)	平成25年6月30日
36	岩田英作 (総合文化学科教授)	弥生の森おはなし広場	講演「絵本の楽しさ～読み継がれてきたものから～」	平成25年7月20日
37	岩田英作 (総合文化学科教授)	邑南町立図書館	しまね子ども読書フェスティバルin邑南講演「読み聞かせを楽しむ」	平成25年7月26日
38	岩田英作 (総合文化学科教授)	邑南町立図書館	しまね子ども読書フェスティバルin邑南講演「すきとおった心のごちそうを子どもたちと」	平成25年7月27日
39	岩田英作 (総合文化学科教授)	しまね子どもの読書等推進の会出雲支部(ブックネットいずも)	「おはなしレストランいずもー絵本だよ、全員集合！！」での読み聞かせに関するおはなし	平成25年8月24日
40	岩田英作 (総合文化学科教授)	鹿島子育て支援センター	「おはなしレストランがやってくるよ！」読み聞かせについてのおはなし	平成25年9月3日
41	岩田英作 (総合文化学科教授)	円建創	子育てワークショップ「絵本ってすばらしいー読みメン講座ー」	平成25年9月14日
42	岩田英作 (総合文化学科教授)	浜田市立金城図書館ミッケの会	さざんか祭り「でまえとしょかん」おはなしレストランでのおはなし	平成25年11月3日
43	岩田英作 (総合文化学科教授)	出雲市立東幼稚園	講演「絵本は親子のかすがい」	平成25年11月21日

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

44	岩田英作（総合文化学科教授）	しまね子どもの読書等推進の会浜田支部	研修会講演「えーさくおじさんの絵本ばなし」	平成25年12月7日
45	岩田英作（総合文化学科教授）	川本町健康福祉課	育児講座「えーさくおじさんのほっこり絵本ばなし」	平成26年1月17日
46	岩田英作（総合文化学科教授）	雲南市立田井小学校	人権・童話教育に関する研修会講演「えーさくおじさんのほっこり絵本ばなし」	平成26年1月23日
47	岩田英作（総合文化学科教授）	益田市市民学習課	益田市民学習センター講座講演「子どもの育ちを支える講座」	平成26年3月1日
48	岩田英作（総合文化学科教授）	出雲市大津めめの会	講演「いのちと絵本」	平成26年3月12日
49	小泉 凡（総合文化学科教授）	和鋼博物館友の会	「山陰の文化資源として生かす小泉八雲」	平成25年4月14日
50	小泉 凡（総合文化学科教授）	商船三井客船株式会社（にっぽん丸）	「小泉八雲と出雲神話」	平成25年5月8日
51	小泉 凡（総合文化学科教授）	鳥取短期大学・倉吉市教育委員会	第1回公開講座「感性の人、『小泉八雲』を現代に生かす喜び」	平成25年5月25日
52	小泉 凡（総合文化学科教授）	島根大学	出雲文化学「小泉八雲と出雲神話—世界からのまなざし—」	平成25年6月21日
53	小泉 凡（総合文化学科教授）	第23回日米草の根交流サミット実行委員会（島根）	「ハーンが遺した日米の絆—ボナー・フェラーズと戦後の日本—」 “Lafcadio Hearn-His Spirit from the West to the East”	平成25年7月2日 平成25年7月3日
54	小泉 凡（総合文化学科教授）	朝日カルチャーセンター湘南	「異界に生きるものたちへのまなざし—ユーラシアの両極から考える—」	平成25年8月31日
55	小泉 凡（総合文化学科教授）	全国敬神婦人会	「小泉八雲と日本—出雲神話との出会いから現代の日本へ」	平成25年9月2日
56	小泉 凡（総合文化学科教授）	シャムロック会	「文化資源としての小泉八雲と異界のフォークロア—アイルランドと日本をつなぐもの—」	平成25年10月18日
57	小泉 凡（総合文化学科教授）	公益財団法人ごうぎん島根文化振興財団	尚風館「小泉八雲の追い求めたもの」	平成25年11月9日
58	小泉 凡（総合文化学科教授）	熊本八雲会・熊本アイルランド協会	「ギリシャへの誘い—オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン—」	平成25年11月10日
59	小泉 凡（総合文化学科教授）	尾道ライオンズクラブ	「文化資源として生かす小泉八雲」	平成25年11月19日
60	小泉 凡（総合文化学科教授）	島根県立石見高等看護学院	「五感を開いて生きる！」	平成25年12月5日
61	小泉 凡（総合文化学科教授）	島根大学	島大ミュージアム学「出雲の護符文化とピット・リヴァーズ博物館」	平成25年12月13日
62	小泉 凡（総合文化学科教授）	近江屋ツアーセンター、滋賀大学経済学部	彦根ゴーストツアー「天狗現るの章」 「天狗を考える」	平成25年12月15日
63	小泉 凡（総合文化学科教授）	松江市立中央図書館	定期講座「小泉八雲に学び親しむ」 「ラフカディオ・ハーンと出雲神話」	平成25年12月27日
64	小泉 凡（総合文化学科教授）	朝原振興会（出雲市佐田町）	「文化資源として生かす小泉八雲と怪談」	平成26年2月2日
65	渡部周子（総合文化学科講師）	男女共同参画推進会議とっとり	男女共同参画推進会議とっとり講演会「少女の誕生 ジェンダーの視点から」（よりん彩活動支援事業公開講座）	平成25年11月9日

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

2 審議会委員等

NO.	教員氏名	委嘱(依頼)者	役職名	期間
1	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	松江圏域健康長寿しまね推進会議委員	平成16年4月～
2	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	島根県食育・食の安全推進協議会委員	平成19年4月～
3	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	島根県健康長寿しまね推進会議委員	平成17年4月～
4	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	島根県環境農業推進協議会副委員長	平成19年4月～
5	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	島根県糖尿病専門委員会委員	平成19年4月～
6	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県教育委員会	学校給食表彰の推薦に係る審査会審査員	平成19年4月～
7	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	「わが家の一流シェフin島根」料理コンクール審査員	平成19年度～
8	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県	島根県中山間地域等進行対策検討委員会委員	平成22年4月～
9	名和田清子 (健康栄養学科)	雲南市	雲南市学校給食調理業務等委託評価委員会委員長	平成24年4月～
10	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会理事	平成24年5月～
11	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会生涯学習委員長	平成24年5月～
12	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会糖尿病対策委員会委員	平成24年5月～
13	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人島根県栄養士会	公益社団法人島根県栄養士会管理栄養士紹介委員会副委員長	平成24年5月～
14	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人島根県学校給食会	公益社団法人島根県学校給食会評議員	平成24年6月～
15	名和田清子 (健康栄養学科)	公益社団法人日本栄養士会	公益社団法人日本栄養士会 研究教育事業部企画運営委委員	平成24年8月～
16	名和田清子 (健康栄養学科)	まつえ市民大学運営協議会	まつえ市民大学運営協議会委員	平成25年4月～
17	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県教育委員会	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」食育推進検討委員会委員	平成25年度
18	名和田清子 (健康栄養学科)	雲南市	雲南市学校給食調理業務等委託候補者選定委員会委員長	平成25年7月～12月
19	名和田清子 (健康栄養学科)	奥出雲町	奥出雲町食育推進委員会委員長	平成25年8月～平成27年7月
20	名和田清子 (健康栄養学科)	島根県牛乳普及協会	平成25年度牛乳・乳製品料理コンクール島根県大会審査委員長	平成25年9月～10月
21	名和田清子 (健康栄養学科)	公益財団法人 大学基準協会	公益財団法人大学基準協会 短期大学評価委員会短期大学評価分科会第2群委員	平成25年4月～平成26年3月
22	籠橋有紀子 (健康栄養学科准教授)	中国地域産学官連携コンソーシアム	中国地域産学官連携コンソーシアム連絡会議委員	平成25年4月1日～平成26年3月31日

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

23	山下由紀恵（保育学科教授）	島根県	島根県障がい者自立支援協議会委員	平成23年4月 ～平成26年3月
24	山下由紀恵（保育学科教授）	島根県	島根県障がい者施策審議会委員	平成23年4月 ～平成26年3月
25	山下由紀恵（保育学科教授）	松江市	松江市子育て支援ネットワーク会議委員	平成19年5月 ～平成26年3月
26	山下由紀恵（保育学科教授）	松江市	松江市心身障害児小規模療育事業検討委員	平成19年5月 ～平成26年3月
27	山下由紀恵（保育学科教授）	松江市	松江市教育委員会専門巡回相談事業相談員	平成23年8月 ～平成26年3月
28	山下由紀恵（保育学科教授）	松江市	松江市教育委員会の点検評価有識者委員	平成23年8月 ～平成26年3月
29	山下由紀恵（保育学科教授）	松江市	松江市保幼小連携推進委員会委員長	平成25年7月 ～平成26年3月
30	山下由紀恵（保育学科教授）	内閣府	内閣府男女共同参画推進連駅会議委員	平成25年9月 ～平成26年3月
31	山下由紀恵（保育学科教授）	島根県教育委員会	島根県しまねのふるまい推進連絡協議会会長	平成25年7月 ～平成26年3月
32	山下由紀恵（保育学科教授）	島根県	島根県子ども・子育て支援推進会議委員	平成25年10月 ～平成26年3月
33	岸本 強（保育学科教授）	島根県教育委員会	島根県スポーツ推進審議会委員 副会長	平成22年8月 ～平成26年8月
34	岸本 強（保育学科教授）	島根県教育委員会	文科省委託事業地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上 支援事業実施委員会委員	平成25年6月 ～平成26年5月
35	岸本 強（保育学科教授）	島根県健康福祉部	福祉・介護人材確保対策ネットワーク会議委員	平成25年6月 ～平成26年5月
36	岸本 強（保育学科教授）	島根県障害者スポーツ協会	障害者スポーツ支援助成金審査委員	平成23年7月 ～平成26年6月
37	岸本 強（保育学科教授）	雲南市教育委員会	幼児期運動指針実践調査研究委員会委員	平成24年4月 ～平成27年3月
38	岸本 強（保育学科教授）	雲南市教育委員会	雲南市立保育所保育業務委託事業者選考委員会委員長	平成25年8月12日 ～平成26年8月11日
39	岸本 強（保育学科教授）	島根県体育協会	しまね広域スポーツセンター企画運営委員会 副会長	平成17年10月 ～平成26年9月
40	岸本 強（保育学科教授）	島根県体育協会	医科学サポート委員会委員	平成18年5月 ～平成27年4月
41	岸本 強（保育学科教授）	島根県体育協会	普及委員会副会長	平成24年5月 ～平成26年4月
42	岸本 強（保育学科教授）	公益財団法人松江市 スポーツ振興財団	理事	平成25年5月 ～平成26年4月
43	岸本 強（保育学科教授）	公益財団法人ごうぎん 島根文化振興財団	評議員	平成23年5月 ～平成26年4月
44	岸本 強（保育学科教授）	島根県バレーボール 協会	統括アドバイザー	平成23年5月 ～平成25年4月
45	岸本 強（保育学科教授）	中国大学バレーボール 連盟	理事	平成13年5月 ～平成27年4月

平成25年度 地域連携（貢献）活動の取組状況

46	小山優子（保育学科准教授）	大田市	大田市子ども・子育て支援推進会議委員長	平成25年11月 ～平成26年3月
47	福井一尊（保育学科准教授）	島根県保育所（園）・幼稚園造形教育研究会	顧問	平成19年度 ～平成25年度現在
48	福井一尊（保育学科准教授）	しまね文化振興財団	島根県民会館名画劇場運営委員	平成21年度 ～平成25年度現在
49	福井一尊（保育学科准教授）	島根県社会福祉協議会	障がい者アートを活用した商取引に係る著作権等保護に関する検討委員会 委員長	平成25年9月 ～現在
50	福井一尊（保育学科准教授）	益田市	益田市子ども子育て会議委員	平成26年1月 ～現在
51	岩田英作（総合文化学科）	島根県	島根県子ども読書推進会議委員長	平成24年6月2日 ～平成26年6月1日
52	岩田英作（総合文化学科）	島根県	文部科学省委託事業「平成25年度確かな学力の育成に係る実践的調査研究②学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」事業委員会委員	平成25年7月1日 ～平成26年3月31日
53	岩田英作（総合文化学科）	松江市	「小泉八雲を読む」感想文、作詞・詩の審査員	平成26年2月1日 ～3月31日
54	岩田英作（総合文化学科）	島根県	島根県民文化祭文芸部門審査員	平成25年10月1日 ～10月31日
55	岩田英作（総合文化学科）	島根県	平成25年度「しまね調べ学習プレゼンテーションコンテスト」審査員	平成25年11月15日
56	岩田英作（総合文化学科）	雲南市	男女共同参画絵本「はしのうんどうかい」「びかりん」アドバイザー	平成23年10月1日 ～平成26年3月31日
57	岩田英作（総合文化学科）	浜田市、島根県立大学読み聞かせサークル「ゆるりの会」	白砂公民館絵本「西条柿右衛門」アドバイザー	平成25年10月1日 ～平成26年1月31日
58	小泉 凡（総合文化学科教授）	島根県教育委員会	島根県立美術館協議会委員	平成25年5月27日 ～平成26年5月26日
59	小泉 凡（総合文化学科教授）	島根日日新聞社	山陰文学賞選考委員	平成20年4月～
60	小泉 凡（総合文化学科教授）	松江市	小泉八雲記念館再整備基本構想・基本計画策定委員会 委員長	平成25年11月 ～平成26年3月
61	藤居由香（総合文化学科准教授）	島根県	しまね景観賞審査委員会委員	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日
62	藤居由香（総合文化学科准教授）	松江市	松江市都市計画審議会委員	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日
63	藤居由香（総合文化学科准教授）	松江市	松江市緑地及び自然環境保全審議会委員	平成26年3月14日 ～平成26年3月31日
64	藤居由香（総合文化学科准教授）	松江市	松江市歴史まちづくり協議会委員	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日
65	藤居由香（総合文化学科准教授）	安来市	新安来庁舎建設基本設計プロポーザル審査委員会委員	平成26年2月6日 ～平成26年3月31日
66	藤居由香（総合文化学科准教授）	島根県建築住宅センター	一般財団法人島根県建築住宅センター評議員	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日

3 その他地域連携（貢献）活動等

NO.	教員氏名	相手方	内容	日付(期間)
1	福井一尊（保育学科准教授）	島根県社会福祉協議会	島根県立美術館において開催した島根県障がい者アート作品展オープニングセレモニー及び授賞式にて、障がい者アートの魅力と、作品審査会の講評について言及する。	平成25年12月5日